府書籍館類編

文館規則

010.2-F96ウ
1200800284345
010.2
F96
ウ

始

010.2
F96

書籍館類編

第一編　国ニ属スル書籍館

公覧書籍館

第一章　大書籍館

第二章　マザリーヌ書籍館

第三章　アルセナル書籍館

第四章　サアントジユヌビエーブ書籍館

官府書籍館

第一章　司法及ヒ教部省

第二章　外務省

第三章　陸軍省

第四章　海軍省

第五章　農務及商務省

第六章　工部省
第七章　文部省
第八章　大藏省
第九章　内務省

第二編　州、里、公館、會社、ニ屬スル書籍館
第三編　官府書籍館ノ序論

書籍館類編

第一編　国ニ屬スル書籍館

国ニ屬スル書籍館トイフハ公覧書籍館及ヒ諸官省諸寮ノ官府書籍館是ナリ国王ノ遺物ノ一部タル書籍館ハ茲ニ掲ク可キニ非ラスト雖モ亦国屬ノ書籍館ト見做シテ之ヲ記載ス

公覧書籍館

国ニ屬スル公覧書籍館ハミナ波黎府ニアリ即チ左ノ如シ

大書籍館、マザリーヌ書籍館、アルセナル書籍館、サアンジエネビエーブ書籍館コレナリ此等ノ書籍館ハ文部省ニテ統轄シ其設置ノ方法ハ国王ノ制令ニ由テ規定ス

第一章　大書籍館

大書籍館ハ国属ノ書籍館ノ中最モ盛大ナルモノニシテ其創業ノ国王シャル、第五世ノ代ニ起立ス当時蔵ムル所ノ書籍九百十巻ナリフランソア一世ノ代ニ一千八百九十巻ヲ蔵メルウイ十三世ノ代ニ一万六千七百四十六巻ヲ蔵メリ一千六百八十四年ニハ五万〇五百四十二巻ヲ蔵メ一千七百七十五年ニ大略十五万巻ヲ蔵メ一千七百九十年ニ大略二十万部ヲ蔵ムルニ至ル現今蔵スル所ノ書籍ハ印行書七十万謄写書八万ニ過ク其外萬國國史法国々史ニ関渉スル書類コノ中ニ寔セサルモノ数千アリ

ルウイ十四世ハ王室ノ家ニアル所ノ諸功牌（メダイユ）及ヒ奇物ヲ聚ムル令ヲ布告セリ而シテ一千六百六十七年其集ムル所ノモノヲ大書籍館ニ儲蔵セシメタリ古物学者ヲ外国ニ派出シ以テ此書籍館ヘ数種ノ奇物ヲ増加セリ諸ノ奇異珍宝コヽニ漸次相集リテ今時コノ大書籍館ハ欧羅巴洲中ニ在リテ最モ珍奇ノ物品ニ富メルモノナリ

大書籍館中ニルウイ十四世王ノ創立シタル畫庫アリ此庫ニハ在昔彫像発明ノ始メヨリ今ニ至ルマテノ畫像地圖ノ類ヲ蔵ス其中畫像百二十万地圖四万アリ

大書籍館ノ財物ヲ増殖スルノ源ハ献納（デポーレガール）ノ書籍大書籍館ハ之ヲ四庫ニ分ツ一ハ印行書二ハ謄写書政法書及ヒ制令三ハ功牌印刻石及ヒ古石四ハ畫図地図及測量地図ヲ蔵ス

大書籍館ハ一千八百三十九年七月二日ノ法令ニ基キ国王ノ任スル総裁官及ヒコノ各庫ノ守官ニテコレヲ掌理

ス

第二章　アルセナール書籍館

昔ノ武庫ノ内ニ建テタル此書籍館ハポールミーノ侯及ヒポローニエ國在留公使ルボアイエダルジヤンソンノ創業セシモノナリ此書籍館ハシヤル、十世王ノ時即チ一千七百八十一年ニアルトア侯ノ所有トナレリ此侯ラバリエール公ノ書籍館ノ書ヲ悉ク此館ヘ移セリ

アルセナール書籍館ハ現今儲有スル書籍大約十七万七千巻アリソノ中六千ハ謄寫書ナリ

此書籍館ノ内ニ近世文学隆盛ノ原ヲ興シタル往古ヨリノ諸小説類ヲ大ニ全備ス而シテ演戯上ニ勸善及ヒ奥妙ノヿヲ為スヲ始メタル時代ヨリ一千七百八十九年マデノ戯曲ノ諸編及ヒ千五百年以来ノ法國ノ詩文集ヲ蔵ス

此書籍館ハ他ノ書ニ富マザレモ世ニ稀ナル數種ノ歴史及ヒ以大利エスパーギユノ著作家ノ世ニ比類ナキ著書ヲ多ク所蔵セリ

アルセナール書籍館ハ一千八百三十九年二月二十二日ノ布告ニ従ヒ國王ノ命スル守官及ヒ次官ニテコレヲ管理ス

第三章　マザリーヌ書籍館

此書籍館ハデヌコルドト云ヘルリモジユノ僧ノ礎ヲ建テタリ「マザリーヌ」書籍館ハ全國ノ書籍館中最モ始メニ公覧ヲ許シタルモノニテ実ニ一千六百四十八年ニアリ故ニ一千七百三十七年大書籍館ノ公覧ヲ許シタル時ヨリ殆ト一百年前ニアリ

既ニシテマザラン此書籍館ヲ所有シタリ當時此館ハ書

籍四万部ヲ藏貯シタリ
牧師マザランハコノ重要ナル書籍館ヲ盛大ナラシメント欲シ博学者ガブリエルノウデヲ撰用シテ此館ノ主事者トナセリノウデハ最初ニ波黎府ノ書舗ニアル書ヲ撰ミ此館ニ藏シ然ル後ノウデハ荷蘭以太利獨乙英吉利ノ諸国ヘ歴遊シテ珍書ヲ捜索ス然ルニ此人委托書ヲ持参シタルカ故ニ世ニ稀ナル諸ノ著書ヲ購求スルヿヲ得タリ

一千六百六十一年マザラン晩年ニ臨ミテ遺言シ己レノ開基シタルモノニシテ名ヲマザラント号スル学校ヘコノ書籍館ヲ附属シタリ此書籍館ハ一週ニ二度開館ス預メ定日ヲ公告シ以テ文人学士ノ借覧ヲ許シ其裨益トナセリ

方今コノ書籍館ニテハ印行書九万部及ヒ謄寫書三千四百三十七部アリ

此書籍館ニハ千四百年代ノモノニシテ他所ニテ観ルヿ能ハサル文学ノ單文短編多ク具ヘタリ而シテ此書籍館ノ如ク法学神学医学物理学数理学ノ古書ニ冨メルモノ更ニアルヿナシ又マザリーヌ書籍館ハ「リユテリアン」即チプロテスタン」ノ大家ノ最モ有名ナル著書ヲ藏ス

此書籍館ノ管理ハ又前ノ書籍館ト同様ナリ

第四章　サアンジエネビエーブ書籍館

此書籍館ノ建設シタルハ一千六百二十四年ノ事ナリ「サアンジユネビエーブ書籍館ヲ變革シタルラロシユフウコウルノ牧師ハ此館ニ書籍六百部ヲ贈遺ス一千六百八十七年ニ二千部ノ刊行書及ヒ四百部ノ謄寫書ヲ藏メタ

リ一千七百十年レアンノ大法師(アルシエベック)レテリエハ自己ノ藏書ヲ悉皆コノ書籍館ヘ献納セリ法蘭西革命ノ時刊行書九万謄写書三千ヲ有シタリ

此書籍館ニハ當時刊行書二十万及ヒ謄写書三千五百ヲ藏メタリ其中大学科ニ属スル書籍及ヒ「アルド」以太利ノ有名ナル印書師ノ印行スル書籍ヲ藏ス此書籍館ハ就中歴史ノ書ニ冨メリ著名ノ謄写書ハ希臘及ヒ東洋諸国ノモノニ係ル而シテ印行ノ書ハ其数甚タ夥多ナレ𪜈之ヲ保存スルノ方法最モ完全ニシテ実ニ美麗ヲ尽セリ茲ニ又羅馬ヨリ来レルモノニシテ一千八百十四年外国人ノ見閲ヲ肯セザリシ所ノ宝書数巻ヲ藏スルナリ

此書籍館ノ管理ハ前ノ書籍館ト同様ナリ然レ𪜈コヽニハ守吏二人アリ而メ他ノ館ニ比スレハ従事スル所ノ官吏夥多ナリ

官府書籍館

國属ノ書籍館ノ中ニ官府書籍館ト名クル所ノモノハ前文ニ云フ如ク諸省ノ中或ハ之ニ属スル諸官府ノ中ニ設ケタル書籍館ナリ此書籍館ハ其用少ナク之ヲ設ケタルノ効ナキニ似タリ然レ𪜈此書籍館ハ其官府ノ格別ナル書類ヲ藏シ他ニ求メ得ヘカラサルモノアリ

第一章　司法及ヒ教部省　国議院　印書寮　復審院

司法本省ノ中ニ二ノ書籍館アリ刑部書籍館教部書籍館コレナリ刑部書籍館ニアル所ノモノハ法律歴史等ノ書ナリ而シテ公文記録ヲ藏ス

教部書籍館ハ甚タ小ナリ其所藏ノ書ハ公文記録ナリコ

ノ公文記録ハ法蘭西ニ於テ教部ノ創立ノ期限タル一千八百年代ヨリノ記録ナリ
国議院印書寮ノ書籍館及ヒ大約三万六千部ヲ貯蔵スル所ノ復審院ノ書籍館モ亦司法省ノ所属タルヲ以テ茲ニ掲載セサルヲ得ス

第二章　外務省

此省ノ書籍館ハ最モ地図ニ冨ノリ而シテ其公文記録ハ緊要ナルモノニシテ其数モ亦甚タ多シ

第三章　陸軍省

陸軍本省ノ中ニ二ノ書籍館アリ其一ハ陸軍卿ノ政務参考ニ供スル簿冊ヲ備フル書籍館ナリ其二ハ工兵分隊ニ関係シタル炮臺築造ノ書類ヲ蔵スル書籍館ナリ此館内ニ戦地ノ凸畫(オキアゲ)ヲ列シタル廊アリ當省ニ設ケタル所ノ書籍館ハ亦特別ナルモノナリ然レ𪜈真ニ陸軍書籍館ト云フヘキモノハ従来軍庫ト称スル公館是レナリ(軍庫ノ部ヲ見ルヘシ)陸軍省ニ管理スル所ノ公館中茲ニ挙クヘキ書籍館ヲ有スルモノハ即チ廃卒院(ロテールロアイヤル)サアントマータキアンノ軍営ノ砲隊屯所及ヒ陸軍兵学校(エコールポリテクニク)ナリ

第四章　海軍省

海軍省ニハ二個ノ書籍館アリ一ハ海軍省書籍館一ハ一千七百二十年代ニ設置シタル海路図ノ倉庫ニ属スコノ省ハ書籍館ヲブレス、トツウロン、ロシユホル、シユルブウル、ロリアン、シヤウサドノ鑄鉄場アンドレ、ノ製鉄所トツウロン、ノ歩兵学校マルナニツク、グワデルウブギユイヤトヌ、セ子ガル、ブウルボン及ヒポンジシエリー等ノ殖民地ニ建設セリ又諸戦艦ノ中ニモ書籍館ヲ建置シタリ

第五章　農務及ニ商務省

此省ノ書籍館ハコレヨリ将ニ建立セントスル際ニ藝術職工ノ器具貯積所ノ書籍館ハ此省ニ属スルモノトシテ茲ニ掲クヘシ

第六章　工部省

工部省ハソノ本府ニ四ノ書籍館ヲ有ス其一ハ工部省書籍館ナリ但シ著大ナルモノニアラス其二ハ橋梁堤防学校ノ書籍館ナリ其三ハ礦山学校ノ書籍館ナリ其四ハ礦山事務會議所ノ書籍館ナリ

第七章　文部省

文部省ニハ三ノ特別ナル書籍館アリ第一ハ文部卿事務局ノ書籍館ナリ此書籍館ハ古今有名ノ著述并ニ教育ニ関渉シタル書ヲ藏ス第二ハ文部會議院（コンセイユロアイヤル）ニ属スル書籍館ナリ茲ニハ專ラ教育ニ関係シタル書ヲ藏ス第三ハ文部省書籍館ナリ此書籍館ニハ重大ニシテ且困難ナル著述ヲナス人ヲ助ケ文学ヲ益奨励センカ為メニ居常文部省ニ准備スル資本ノ輔助ニ由リテ著作シタル諸書ヲ收藏スルナリ文部省書籍館ハコノ外献納ノ書籍ニヨリテソノ書ヲ増殖スルナリ

文部省ニテ管理スル諸官署ニ属スル許多ノ有名ナル書籍館アリ即チ「アンスチヽウ」大学校波黎ノノ書籍館大学校ノ書籍館神学校ノ書籍館法律学校ノ書籍館博物展覧場ノ書籍館「ジヤルダンシユロア」万物学校ノ書籍館医学校ノ書籍館天文臺ノ書籍館コレナリ

第八章　大藏省

大藏省書籍館ハ法律裁判執政并ニ学術等諸般ノ事務ニ

関渉シタル書籍ヲ藏ス
統計官ノ書籍館ハ大藏省所属トシテ茲ニ掲ルヿヲ要ス

第九章 内務省

近年内務省中ニ政務ニ関スル書籍ヲ藏スル書籍館ヲ創立スルノ企テアリ而シテ今日モ此企ヲ廢スルヿナシコノ事ニ就キテハ下文第三編ニ至リテ審ニ論ス又内務省ニハ他ニ一ノ書籍館アリ此書籍館ハ数年ノ間獻納(デポーレガール)ノ書籍ヲ以テ盛大ニ至レリト雖𪜈即今ハ更ニ書籍ノ増加スルヿナシ此省ノ公文記録ハマタ夥多ニシテ緊要ナルモノ多シ

内務省ニ属シタル三大公館ハ著名ナル書籍館ヲ有ス即チ警視廳書籍館音樂院ノ書籍館及ヒ全王國ノ公文記録館是レナリ

第二編 州里公館及ヒ會社ノ書籍館

州ニ属スル書籍館ハ今時ノ所謂官府書籍館ニ類似スルモノナリ而シテ公覧書籍館ハ各ソノ里ニ属シコレヲ管理スル執事ハ里長ニテ命ス一千八百三十七年七月十八日ノ法一千八百三十九年七月二日ノ布告此書籍館ノ勤務ノヿニ就キ地方廳ニテ制定シタル規則ハ必スコレヲ文部省ヘ報告セサルヘカラス一千八百三十九年二月二十二日ノ布告第四十二條此布告ノ第三十七條ノ旨趣ニ由リ文部卿ハ書籍館ノ設ケアル諸市街ニハ里長ノ首席スル會議所ヲ立ツルヲ要ス其會議所ハ書籍ヲ購買スルタメ資本ノ準備ヲ定メ書籍目録ヲ作リ及ヒ交換ノ景況ヲ定ムルヿヲ擔任ス毎年休暇ノ時ニ書籍買入ノ帳簿ヲ文

部省ニ送致スルヲ要ス同布告第四十條ニハ市街ニテソノ書籍館中ニアル書籍、手稿、証書、制令、功牌ヲ他ニ譲與スルヿヲ禁示シタリ

里ノ書籍館ノ外ニマタ公館ノ書籍館ヲ掲クルヲ要スコノ書籍館ハ一個ノ公館ニテ設立スルモノニ係ル片ハ共公館ニ属シ若シ国或ハ州或ハ里ニ属ス斯ノ如キ書籍館ハ学校病院「メイゾンサントラール」獄牢救恤院等ノ書籍館ナリ

此他或組合或會社ニテ所有スル書籍館アリコレ亦茲ニ挙ケサルヲ得ス此ノ如キモノハ両議院ノ書籍館王國ノ諸上等裁判所ノ傍ニアル代言者ノ書籍館コレナリ

此ノ如キ組合或ハ會社ノ中自己一箇ニテ物ヲ有シ得ルモノト特ニ政府ノ枝派ニシテ自己一箇ニテ所有シ得サルモノト相混淆スルヿ勿レ自己一箇ニテ物ヲ有シ得サルモノハ司法ノ部ニ於テ各級ノ裁判所ナリ復審院モ亦ソノ中ニ属ス行法ノ部ニ於テ州知事評議所国議院等ナリ此等ノ用ニ充ル書籍ソノ他ノ物件ハ此官署ノ所有ニアラス是ヲ以テ此官署ニ贈ルトコロノ物ハ即チ政府ニ贈ルナリ而シテ政府ハ贈者ノ趣意ニ由リテ贈物ヲ用ユルノ責仕アリ

シヤルトル裁判所ノ長官此裁判所ニ書籍購買ノ資金トシテ三百「フランク」ヲ贈遺シタリ乃ケ此贈遺金ヲ承允スルノ命令書ヲ以テウールエーロアル、ノ州知事ニコノ贈遺金ノ領收及ヒ贈遺者ノ趣意ニ従ヒ之ヲ用ユル爲メ必用ナル諸文書ヲ政府ノ名ヲ以テ作ルヿヲ仕シタルハ前文ノ理ニ帰スルナリ

一千八百三十四年七月十一日ノ布

第三編　官府書籍館ノ序論

官府書籍館ノ要用ナルヿハ衆人ノ能ク辨知スル所ナリ諺ニ云フ此書籍館ハ行政官吏ノ職場ニシテ恰モ工匠ニソノ職場アルカ如シト実ニ官吏ソノ職ヲ行フニ欠ク可ラサルノ器具ナリ依テ此書籍館ノ中ニ所藏スル書ハ皆行政官吏ノ職ヲ行フノ器具ニ外ナラス世人此論ニ同意セサルモノナシト雖𪜈我輩不幸ニシテ未タ之ヲ実地施行スルヿ能ハス國州里ノ何處ニテモソノ勤務繁多ナルカ故ニ中真政府ナルモ地方政府ナルモ此至善ナル書籍館ヲ設ケ以テソノ輔助トナスニ至ルマテ其年月久シカルヘシ一千八百三十八年モンタリベノ侯即チ當時ノ内務卿ハ政府ヲシテ州廳及ヒ郡廳ニ官府書籍館ヲ創立スルヲ助ケシメンカ為メニ一千八百三十九年ノ歳出入表ノ中ニハ二万五千「フランク」ノ資本ヲ增加センヿヲ議院ニ建言シタリキ其文ニ曰ク多年政府ハ州廳及ヒ郡廳ノ官吏ニ政務ノ教導ヲナスノ緊要タルヿヲ了セリ而シテソノ目的ニ達スル良法ノ一ハ各州及ヒ各郡ノ首府ニ政法ノヿヲ著述シタル善良ノ書ヲ收藏スル所ノ書籍館ヲ創立スルニアリ然シテ此書ノ選擇ハ国議院ノ評議役トソノ調役トニテ組立タル特別ノ委員ニ托スヘシソノ書ノ保存ヲ堅固ナラシムルタメノ規則ニ就テハ既ニ大藏卿ト往復セリコノ企望ヲ現ニ行フニ於テハ幾許ノ資本ヲ要ス故ニ此資本ノ一分ハ州ノ歳出入表ニ書載シ又他ノ一分ハ勸奬ノ義ニ由リテ国ノ歳出入表ニ記スヘシ今此勸奬ノタメニ備フル資本ハ毎州ニ一百「フランク」毎郡

ニ五十「フランク」ト定メ州會モ亦同シキ高ノ資本ヲ投票スヘシ既ニ州會議員ノ中ニソノ意ヲ表スルモノアリ勸奬ノ爲メ資本ヲ備フルノ議ヲ実地ニ行フハ一大義事ナルニ議院誤リテ之ヲ許諾セス実ニ遺憾ト云フヘシ蓋シ議院ハ資本ノ至要ナルヿヲ察知スルト雖モ此事ハ皆州ノ仕ニシテ州ニ委托スヘキモノト信認セリ

議院資本ヲ備フルノ議ヲ拒ミシハ遺憾ナリト雖モ内務卿ハ一千八百三十七年州會ノ商議投票ニ由リテ官府書籍館ヲ盛大ナラシメンヿヲ望願セリ而シテ一千八百三十八年七月三十日ノ布告狀ニテ内務卿ハ州知事ニ官府書籍館ヲ保存スルノ方法ヲ敎示セリ此方法ハ第一ニハ州属ノ他ノ動産ノ保存及ヒ検査ノ方法ヲ竝ニ施用スルニアリ第二ニハ書名ノ簿冊ヲ作ルニアリ蓋シ此簿冊ノ紙ニハ大書記官又ハ郡知事印ヲ押スヘシ及ヒ年々検閲ノ時ニモ此ニ名ニテ印ヲ押スヘシ第三ニハ書籍ノ表紙及ヒ標題ヲ記セル所ニ押印スルニアリ右布告狀ノ文ニ曰ク州知事ハ州廳ニ貯藏スル政典及ヒ司法ノ事ニ関スル書籍ソノ他ノ諸書ノ目錄ヲ速ニ作ルヘシ州知事ハ郡廳ニ收貯スル書籍ノ目錄ヲ郡知事ヲシテ作ラシメソノ謄寫ヲ州ニ送ラシムヘシ此目錄ニ依リテ年々及ヒ一千八百十八年十二月十七日ノ布告第四條一千八百三十年二月三日ノ布告三四五六條ニ從ヒ官吏交代ノ時諸書類ヲ検査スルヲ得ヘシ此目錄中ニ掲載シタル諸書ハソノ州郡ノ名ヲ記シタル印ヲ押シ置クヘシ

此印ハ書ノ標題ヲ記シタル所并ニ表紙上ニ押スヘシ州知事ハ州郡ノ書籍目錄ヲ一部ツヽ内務卿ヘ進呈スヘシ」

内務卿モンタリベ氏ノ以後モ亦同ク州及ヒ郡ノ官府書籍館ノ事ニ注意セリ而シテ其意ヲ推及シテ里ニモ此ノ類ノ書籍館ヲ創立セントスルニ至レリ然レ氏既ニ説述スル如ク書籍館ノ事ニ尽シタル心力ニ比スレハ尚ホ未タソノ成績顕レサルナリ

州里ノ官府書籍館ニ儲書ノ増殖スルノ道現今ハ数分カ立タサル所アリト雖モ諸省ノ書籍館ニ至リテハ然ラス実ニ増殖スルノ志願アレハ必スソノ道ヲ得ルヿ容易ナリ如何トナレハ献納書籍（デポーレガール）ヲ最嚴ニ行フヿ諸省及ヒ其他諸官署ト交換スルヿ外國ノ政府ト交換スルヿ州政府ヨリノ逓送著作家ノ献納等ハ即チ増殖スルノ道ナリ而シテ公明確実ノ條理アレハ既ニ出版シタル書籍ヲ買上ル入費ニ付キ議院ヲシテ拒防セシメサルヿヲ得ヘシ果シテ然ラハ價金ヲ出スヿハ容易ニ書籍ヲ備フルニ至ルヘシ

上文ニ云フ如ク官府書籍館ノ創立ニ就テハ内務省既ニ其例ヲ施シタリ而シテ此創業ハ當時ノ内務卿コムトジユシヤテール氏副書記官アントバシー氏不朽ノ光栄アル一挙ト称スヘキナリ又此書籍館ヲ盛大ニシ以テ緊要ナルモノトナシタルハ内務卿ノ宿志ヲ遂ケシメンカ為メニ尽力シタルエルビダールト云フ剛毅卓識ノ人ノ奮発ニ因レリ然レハ此人ノ名誉モ亦少ナカラス

官府書籍館ニ関係スル一千八百四十一年ノ決定書ヲ以テ内務卿ハコノ書籍館ノ中真政府ノ諸勤務官吏、著述者、及ヒ其他コレニ由リテ事ヲ調査セントスル人ノ為メ一大緊要ノモノタランヿヲ欲セリ

此志願ヲ遂クルノ法策ニ於テ一モ欠クルモノナシ諸省及ヒ其他諸官署ト公文書類ヲ交換スルノ規則ヲ定メ又書籍買上ノタメ準備シタル資金ヲ以テ許多ノ書ヲ購求セリ種々ノ名義ニテ内務省ヘ献納スル書ハ皆此書籍館ニ貯蔵シ州廳或ハソノ輔助ニ由リテ出版シタル書類ハ数々州知事ニ達セシ布告状ヲ以テ内務省ヘ進呈セシメタリ

此書籍館ハソノ効験日ニ見ハレ特ニ内務ノ諸局ニ裨益ス當時貯蔵スル所ノ書ハ八千部ニ下ラス

余コノ論ヲ畢ルニ至リ諸省ハ内務省ノ先例ニ倣ヒ而シテ議院ハコレヲ慫慂鼓舞セシヿヲ願フ如何トナレハ官府ニ教育ノ道ヲ立ルノ費用アルハ決シテ果実ナキ冗費ニアラサレハナリ蓋シ執政官吏ハ恰モ邦國ノ工人ナリ器具利ナレハ工作モ亦從ツテ美ナルハ必然ノ理ナリ

公文館規則

目録

第一章　總論
第二章　公文館總規則
第三章　州ノ公文館ヲ論ス
第一項　州ノ公文館構成并ニ其定例ノ事
第二項　公文館監事
第三項　公文館設置ノ地
第四項　公文管守ノ規則
第五項　公文ノ分類并整頓ノ事
第六項　分類ノ法式
第七項　公文目録冊及ヒ額表
第八項　公文ノ定期収藏ノ事

第九項　公文ノ捜見并ニ交付ノ事

第十項　公文ノ公寫及ヒ抜抄

第十一項　不用ノ公文廢棄并ニ其售賣ノ事

第四章　郡ノ公文館ヲ論ス

第五章　邑ノ公文館ヲ論ス

第一項　公文引渡并ニ其管守ノ責任ノ事

第二項　公文保存ノ事

第三項　公文ノ分類及ヒ目録冊ノ事

第四項　分類ノ法式

第五項　目録冊刊行ノ事

第六項　公文検査ノ事

第七項　邑ノ舊公文

第八項　公文交付ノ事

第九項　公文公寫及ヒ抜抄

第六章　諸救恤所ノ公文ヲ論ス

第七章　教會主税局ノ公文ヲ論ス

第八章　諸審理院（クール）及ヒ裁判所（トリビユナール）ノ公文館ヲ論ス

第一項　諸審理院及ヒ裁判所ノ公文館ノ構成并其定例ノ事

第二項　公文ノ捜見、交付并ニ公寫

第九章　王國公文館ヲ論ス

第一章

總論

凡ソ官府ハ其權限ヲ規定スル所ノ權限書布達書決議書或ハ其ノ管守スル所ノ公益或ハ私益ニ關セシ書類ヲ保存整頓スルノ方法ヲ案セサルヲ得ス

前文ノ意ニ因レハ政府ノ保護ニテ諸省寮ニ倚托アル諸公文館ノ數夥多ナルヿ推テ知ルヘシ而シテ其異同アルヿ又知ルヘシ

実ニ現今設置ノ諸公文館ハ一千七百八十九年ノ變革及ヒ其後制定ノ秩政典ニ從ヒ制限セシ官省廳ノ權限職務ノ區別ニ因テ設立アルヿヲ追考セサルヘカラス但シ此變革以前ノ政府ノ公文モ保存セサルヲ得サルカ故ニ亦共ニ之ヲ現今ノ諸公文館ニ備ヘタリ

故ニ今日現存ノ公文館ニハ左ノ書類ヲ包蔵ス即十一ハ公文館ノ設置アル官署ノ公文一ハ既ニ廃止セシ官府ノ公文是ナリ

諸公文館一定ノ成規ヲ立ントスルニ其法例トナスヘキ者アラス法国共和第二年苅月七日ノ法ノ如キハ固ヨリ其法例トナスニ足ラス如何トナレハ假令立法者始ニハ此法例ヲ以テ諸公文館ニ施行セシメントスルノ志意アリト雖モ政体変革ノ為メニ其條款行ハレ難キモノ多ケレハナリ而シテ諸公文館普通ノ法例トスル者甚タ少シ今之ヲ記セント欲ス

第二章

公文館総規則

刑法中左ノ四條ハ公文館規則ニ付テ最モ緊要ノ條トス

第百七十三條　凡ソ裁判官、支配人、長官或ハ其他公務ニ管スル官吏其職掌ニテ管守スル所ノ證書類或ハ其職務ニテ他ヨリ逓送ヲ受クル所ノ諸書類ヲ損廃竊取スル者ハ有期ノ徴役ニ處セラルヘシ

政府又ハ記録保存者ノ傭吏同罪ヲ犯セハ同刑ニ處セラルヘシ

第二百五十四條　公文館、裁判所ノ書記局或ハ公立ノ記録庫ニ貯ヘ又ハ政府ヨリ委任セシ保存者ニ管守セシメタル犯罪證書、犯罪処断書及ヒ其他證書類簿冊證票等ノ損廃竊取ニ係ル時ハ懈怠セシ裁判所ノ書記役公文館監事代書人(ノテール)或ハ其他保存者ニ繋獄三ケ月ヨリ一ケ年且一百「フランク」ヨリ三百「フランク」ノ贖罪金ヲ申シ渡スヘシ

第二百五十五條　前條ニ記載シタル所ノ損廢竊取ノ罪ヲ犯シタル者ハ徒刑場内ニ於テ驅役ノ刑ニ處セラルヘシ若シ保存者自ラ同罪ヲ犯シタル時ハ有期ノ懲役ニ處セラルヘシ

第四百三十九條　人自ラ詭計ヲ用ヒ官署ノ簿冊草案又ハ記單（ヲホヘガキ）等ヲ故サラニ焚焼シ若クハ損棄スル者ハ其方法如何ヲ問ハス徒刑場内ニ於テ驅役ノ刑ニ處セラルヘシ

法國共和第二年葡月七日ノ法第三十七條ニ據レハ凡ソ國民ハ前以テ定メタル時日ニハ各公文舘内収藏ノ公文ノ報告ヲ求メ得ヘシ

蓋シ此報告ヲ与フルニ入費ヲ出サシメス又注意シテ之ヲ作リ決シテ遺漏等莫カル可シ但シ公文ノ公冩或ハ其冊録ハ二面ニツキ其價七十五「サンチーム」ノ割ニテ渡スヘシ一千八百十六年四月二十八日ノ法第六十三條ニ準シ收税スヘキ公冩ハ價一「フランク」二十五「サンチーム」ノ印紙ニ登記セサル可カラス

各州郡及ヒ邑廳ノ決議書第一回ノ公冩ハ其本書ニ関係ノ者ニハ無税ニテ付与スヘシ

右決議書ノ第二第三回ノ公冩或ハ官署ニ貯フル證書類及ヒ掲示書ノ公冩ハ共和第二年葡月七日ノ法ニテ決定シタル價ヲ拂ハシムヘシ今之ヲ約スレハ左ノ如シ

第一　決議書第一回ノ公冩ハ其関係ノ者ニハ無税ニテ付与スヘシ

第二　決議二回三回以上ノ公冩ヲ付与スルトキニハ税ヲ課スヘシ

第三　州郡邑管下ノ人民公立ノ記録庫ニアル證書類ノ公冩ヲ求ムル者ハ其種類如何ヲ問ハス右ノ税金ヲ拂ハサルヘカラス（一千八百七年八月四日決定同月十八日施行）

一千七百九十一年九月十二日ノ法第七條施行ニ因リ土地森林ノ事ニ關カル官署ニハ國或ハ州ノ公益ノタメ證書類ノ抄録或ハ公冩ハ無税ニテ渡スヘシ

前文ノ意ヲ尚明詳ニセンニハ各公文館ニ交渉スル所ノ特別ノ規則ヲ記セサルヲ得ス

第三章　州ノ公文館ヲ論ス

州ノ公文館ヲ論スルハ最モ緊要ノ事ナリ此公文館ハ地方且一般ニ有益ナル件々ヲ貯藏スル公文館ノ中ニ在リテ又諸公文館ニ普ク施用スル所ノ諸規則全部ヲ保存スル公立ノ記録庫ナリ

第一項　州ノ公文館ノ構造并ニ其定例ノ事

州ノ公文館ニ集メタル證書類ノ重要ナルヿ及ヒ其類ヲ分チ定ムルタメニ先ツ此ノ公文館ハ何如シテ構造セシヤヲ説クヲ要ス

政治ノ區分タル州ヲ置キ州治ヲナスニ至リ舊政ヨリ新政ニ百般ノ事務ヲ推遷セシムルタメノ其處置ヲ行フヲ要セリ

各「プロワンス」（古ノ政區）ノ廳各「プロワンス」ノ會議所「プロワンス」ノ奉行及其代官ハ各州（デパルトマン　今ノ政區）ニ關セシ一切ノ諸公文ヲ新置ノ官署ニ引渡セリ（一千七百九十年一月八日国會ニテ決定同年四月二十日勅令）

未タ幾何ナラスシテ收税裁判所撰挙裁判所海鹽貯蓄所

關税所山林支配所漁獵支配所貨幣裁判所「クウル、デー、セート」古ヘ租税ニツキ起ル獄訟ヲ終審スル裁判所ヲ廢止シ且又會計規則ヲ新ニ制定スルヤ否之ヲ行フ爲メ會計撿査寮ヲ稍廢止セリ故ニ亦其舊公文ノ夥多ヲ新置ノ官府ノ所轄ニ屬セシメタリ一千七百九十年九月十一日ノ法其外ニ國有地タルヿヲ公布シタル田地ニ關スル法令等モ亦前ノ旧文ノ如シ因テ宗教ノ社「アペイ」寺院「モナステール」寺院等ノ所有地ノ所有ノ權及其支配方ニ管スル所ノ諸公文各「ジストリクト」政區ノ首府ニ取纏メタリ一千七百九十年十一月五日ノ法蓋シ州等ノ諸公文ハ嘗テ寺院ノ舊記庫ニ貯藏セシ者ナリ移住者ノ財産ハ國有トスルノ法律抵當物期限經過スレハ債主ノ所有トスル法律流罪人所有ノ財産ヲ没収スル

ノ法律ヲ布告セシニ由リ各「ジストリクト」ニ一千七百九十二年十一月二十五日ノ法諸侯伯ノ大簿冊即チ紳縉ノ權書親族ノ權書諸侯伯所領ノ地圖并ニ其地誌采地ノ恩書并ニ其人口録系譜等ヲ取纏メタリ國會ハ政府ノ便利ノ爲ニ共和第二年芽月七日ノ布告各種ノ公文調査ヲナサシムルヲ須要ト判決シ而シテ國都即チ巴里府内ニ収藏スル各種ノ公文ヲ悉皆一箇ノ舊記庫ニ収藏シ且又歴史諸学諸藝術ニ關シ或ハ國有地ニ關スル所ノ諸公文ヲ捜討スルカ爲ニ公文假事務局ヲ設ケタリ此局ニ委任セシ事務ハ幾許ナラスシテ共和第四年風月四日ノ法廢棄シ復之ヲ再興シタレ𪜈其後第五年霧月五日ノ法各「ジストリクト」ノ政務ニ關セシ諸公文ト共ニ政府

ニ収メ置キシ各種ノ公文ヲ取纒ムヘキヲ布告セリ
終ニ共和第八年ノ制度ニテ州廰郡廰ヲ設置セシ時カントン（旧政區）ノ各地方ニ関セシ諸公文ハ悉皆之ヲ州ノ公文館ニ合併シタリ
同年雨月二十八日ノ法律第七條ニテ各州廰ノ諸公文看守ヲ大書記官ニ委任セシニヨリ尓来再ニ諸公文ノ類ヲ分ツノ方法ヲ立ツルヿヲ州長ニ命令シタリト雖モ一千八百三十八年五月十日ノ法律第十二條ノ第十九欵ニテ各州ノ公文館看守保存費ヲ州ノ通常費及ヒ相当費定額内ニ加フル迄ハ諸公文ノ分類整頓全ク整齊ナラス但シ諸公文ノ保存整頓ノタメニ諸規則ヲ立シハ此後ノ事ニ係ル所ノ者ナリ

第二項　公文館監事

各州ニ公文館監事一名ヲ置クヘシ（一千八百三十九年八月八日ノ告狀）
各州長ハ該州ノ公文館監事并ニ其属吏ヲ命スルヿヲ得ルト雖モ内務卿ノ許可アルニアラサレハ州長ノ命ハ之ヲ以テ確然トナスヘカラス（一千八百四十三年三月六日ノ規則）州長ハ故ナク公文館監事并ニ其属吏ヲ免シ或ハ本館ニ関セサル事務ヲ之ニ負擔セシムルヿヲ得ヘカラス（同上ノ規則）
監事ノ職掌ハ諸公文ノ保存并其整頓、公文目録冊ノ編纂、公文ノ交付并其ノ公冩ヲ管理シ及ヒ属吏ノ事務ヲ指揮スヘク且又公文館ノ安寧、公文ノ清潔及ヒ其附属品ノ修繕ヲ監察スルニ在リ但シ監事ハ其注意監督ヲ怠ルニ因リ生セシ所ノ事件ニ付テハ責ニ任スヘシ（同上ノ規則）

州ノ公文館ノ屬吏ハ政府ノ金庫ヨリ下渡シノ准備金ヲ以テ支給ヲ受クル州廳ノ屬吏ノタメニ其本廳ニ設ケアル隠居料ニ付テノ諸義務ヲ盡シ及ヒ其分与ヲ受クルヲ得ヘシ

第三項　公文館設置ノ地

公文館設置ノ地ハ可成丈人家隔離ノ地ニシテ乾燥清潔且又日光ニ照晒セル所ヲ撰ムヘシ並ニ引電線（パテトシテール・ライヨケ）ヲ建テ以テ電氣ヲ捍禦スヘシ公文館監事局ハ其局内ニ點燈スルヲ以テ公文館ト全ク隔離ノ地ニ設立スルヲ最モ必要トス

蓋シ公文館ノ窓牖ハ充分空気ノ流通スル様ニ造ルヘシ又其壁ト紙箋簿冊或ハ巻束ノ間ハ容易ニ空気ノ循環スルヲ須要トスヘシ

公文館ノ内壁ニ沿ヒ書架ヲ設ルノミニ限ラス尚餘地アレハ縦横ニ書架ヲ置クヘシ但シ窓口ノ位置共ニ照光ノ方向ニヨリ天井迄高ク架子ヲ累ヌヘカラサル所ハ其高サ窓牖ノ口ニ止ミ所謂賑檯ノ形ニ作リ日光ヲ册子アル所ニ照映セシメ而メ其案上ハ公文ノ分類ヲ取扱フ用ニ供スヘシ又場所ニ因リテハ此事務ニ用ユル板ヲ窓口ニ架スルコトアリ

書架ノ棚ヲ銛齒アル柱ヲ以テ抵受スルハ大ニ益アルコトナリ

凡ソ公文館地ヲ清潔且乾燥ニセンニハ紙箋ヲ用ユルニ如ス又之ヲ用ユルハ諸公文ノ貯存ニ最モ善良ニシテ且小費ニテ足ルヘキ方法トス

諸地圖ノ保存ニ付テハ収税地圖保存ノ爲ニ直税局ニテ定タル規則ニ遵フヘシ即チ其規則左ノ如シ

地圖ハ決シテ圓捲セス其儘紙筐或ハ櫃箱或ハ囊簿子（ポルトフホイユ）中ニ入レテ以テ塵埃及ヒ濕氣ノ襲キヲナスヘシ地圖若シ巨大ニシテ圓捲セサルヲ得サルモノハ布上ニ貼リ然シテ圓捲ノ地圖ヲ置クヘキタメニ設ケシ架子ノ上ニ水平ニ置クヘシ公文館ノ床ハ一週間ニ少ナクモ一度掃除セサルヘカラス蓋シ樅木ノ鋸屑ヲ水ニテ浸シ或ハ温潤アル泥沙ヲ床上ニ撒布シ以テ塵埃ノ起揚スルヲ防クヘク又一月ニ一度ハ羽箒ニテ公文ノ巻束簿冊或ハ紙筐ヲ拂フヘシ

氷雪ノ融解スルノ時季ニ於テハ公文館ヲ固ク鎖閉シテ以テ濕温ナル外氣ノ侵入シテ紙筐及ヒ諸書類ニ傳及スルヿヲ禦クヘシ（一千八百四十三年三月六日ノ規則）

第四項　公文看守規則

何人ニテモ公文館監事若クハ其代理タル館吏一名立合フニアラサレハ公文館内ニ入ルヲ得ス

公文館ハ昼間ハ開キ置キ夜中ハ常ニ鎖スヘシ燈火ヲ以テ館内ニ入リ及ヒ點火スルヿヲ禁ス

公文館監事局内ニ於テ燃シタル火ハ毎日退局ノ節燼滅スヘシ

公文館ニ印章一アリ其文左ノ如シ

某州ノ公文館、公有物

印章ハ公文ノ字面ニ押付スヘシ簿冊或ハ書籍ニハ之ヲ数ケ所ニ少ナクモ毎巻ノ首部中部及ヒ巻尾ニハ必ス押印スヘシ

最モ貴重ナル書類ニ至リテハ嚴容ニ印章ヲ押シテ人ノ之ヲ消スヿヲ企謀スル能ハサラシムヘシ

従前ノ國印ハ諸約章（シャルト）ノ末紙ニ存遺スヘク國印ノ存セサルモノハ之ヲ集録シ而シテ別段ニ之ヲ保存スヘシ

公文館属吏ニハ本州或ハ本州内ニ合併セシカ或ハ之ニ交渉シタル「プロヴァンス」及ヒ其地ニ於テ出生セシ貴人ニ関スル冩書約章（シャルト）権限書及ヒ著作家ノ原稿ノ纂集ヲ私ニ作ルコヲ許サス

監事就職ノ時ニハ公文館ニ収蔵ノ證書及ヒ書類ノ目録ヲ検査シ且其他館内附属ノ器具ノ簿冊ヲ作リテ以テ監事退職ノ時ニ其数ヲシテ不足ナカラシム但シ右ニ付テハ年々考検ノ上改正セリ一千八百四十三年三月八日ノ告状

第五項 公文ノ分類并ニ法式ノ事

各監事ハ其所管ノ公文館ニ収蔵ノ公文目録冊ヲ作ルコヲ管理スヘシ一千八百三十九年八月八日ノ告状

或ル記録庫規則ノ顕然タル異同ヲ審ニセシニ因リ分類式ヲ別定スヘキヲ許可セリ蓋シ此式ニ従ヒ稍々公文目録冊ヲ一定ニ編纂スルニ至レリ一千八百四十一年四月二十四日ノ告状

第六項 分類ノ法式

分類ノ法式ハ左ノ三條タルヘシ

第一條

百般ノ公文ハ其部ニ因リ類纂スルコ即チ一官府一館社一家族或ハ一箇ノ人民ヨリ収メシ諸公文ヲ類集スルコ且又各部ノ次序ニ因テ以テ整列スルコヲ云フナリ

第二條

諸公文ヲ各部ニ綴込ニハ其事件ニ従テ分類シ而メ各件

ニ記号ヲ付スヘキ事

第三條

條件ハ年代土地或ハ只「アベセ」ノ次序ニヨリ綴込ム事
丨部ヲ立テ以テ能ク公文分類ノ法式ヲ了解セシニハ一
館社一官府或ハ一家族ニ属スル所ノ証書ノ全部即チ其々
ノ官府或ハ某族ニ属スル所ノ諸公文全集中ニ僅ニ之レ
ニ交渉スル所ノ公文ヲ綴込マサル事ニ注意スルヲ要ス
即チ平民ニ与ヘタル上院ノ決議書ノ公冩ハ上院ノ部ニ
綴込マス却テ此公冩ヲ求メタル人ノ部ニ綴込ムヘク某
ノ邑或ハ某ノ族ヨリ上院ニ上申セシ願書ノ本書ハ其邑
或ハ其族ノ書類中ニ綴込スシテ却テ願書ヲ受取シ上院
ノ書類中ニ綴込ヘシ是ヲ以テ書簡ハ其主意ニヨリテハ
書簡ノ部ニ綴込サル事アリ如何トナレハ此書簡ノ主意
ハ之ヲ書スル人ニ関シ而シテ書簡ハ却テ寄付セラレシ
人ノ所有トナレハナリ
一千七百九十年前ノ諸公文ノ編輯ハ自ラ舊官府或ハ舊
館社ノ各等級ニ因リ特別ノ体裁ヲナセリ蓋シ此体裁ヲ
ナスハ舊官府或ハ舊館社獨立自裁シテ各々政権ノ一分ヲ
握リシニ因ル所以ナリ
一千七百九十年後ノ諸公文即チ所謂新置ノ州ノ諸公文
ニ付テハ其交渉スル州ニ全ク属スルカ故ニ只一部ヲ成
スト雖モ之ヲ分類スルニハ必ス若干ノ區分ヲナサヽルヲ
得ス蓋シ此區分ハ諸州一轍ナルモノニシテ公務ノ本末
ニ從ヒ諸件ヲ各部ニ分類スルト等キ道理ニヨリ部分ヲ
ナサヽルヲ得ス
監事ハ許多ノ公文ヲ分類セントスルトキハ第一諸公文

ノ概表及ヒ假番号即チ館内収藏ノ冊子紙筐書筴及ヒ巻
束ノ表ヲ作リ共ニ之ニ記号ヲ付スヘシ之ヲ取扱フ前ニ
監事ハ一々各部ノ條目ト部中ニ綴込シ各件及ヒ其件ニ
記載ノ月日ヲ検査スヘシ
次ニ各個條ニ記号ヲ付スヘシ但シ一纏ノ書類或ハ各種
ノ書類ヲ部分ケ或ハ條分ケニテ紙筐或ハ書筴ニ包ム時
ハ監事各部又ハ各件中ノ数條ヲ合テ別段ニ番号ヲ付ス
ヘシ
右ノ外尚之ヲ完全ナラシムル方法アリ而シテ之ヲ完全
ナラシムルニハ各個條ノ記号ヲ片紙或ハ牌子ニ題シマ
タ其下ニ次ノモノヲ記載スルニ在リ即チ其第一ハ此個
條ノ属スル部第二ハ事件第三ハ日付是ナリ斯ク見出ヲ
付ケ及ヒ記号セシ個條ハ其番号次序ニヨリ一々本箱ノ

上ニ掲示スヘシ之ニ反シテ諸牌子「ビユルタン」ハ部分ニ
ヨリ又各部ハ各件ノ次第ニ従ヒ分類スヘシ益シ此取扱
ヲナスハ一部中個條ノ次第、各條ヲ付シタル事件共ニ其
所在ヲ容易ク見出サシムルノ効アリトス
又其他牌子ヲ用ヒ公文ヲ分類調理スルヿアリ諸体ヲ類
集スル爲メ、諸條件ノ異同ヲ示ス爲メ、諸條件ノ分合ヲ預
定スル爲メ、一言ニ之ヲ約セハ分類ノ方法ヲ種々ニ試ミ
ル爲ニハ「ビユルタン」牌子ヲ別々ニシ或ハ之ヲ集ムルヲ
以テ可ナリトス然リト雖モ如此ク條件ヲ合シ或ハ之ヲ
検考シ或ハ之ヲ精細ニ分類センヿヲ要スルニハ諸件ノ
確然タル分類ノ大區別ヲ定ムルノ後ニ在リトス諸部ヲ
分類スル前必ス之ヲ整頓スル次序ヲ定ム可シ此次序ハ
左ノ二類ニ分チ且ツ各公文ノ類集ハＡＢＣノ字ヲ題シ

タル左ノ表ニ示ス如シ

第一表一千七百九十年前ノ諸公文類集

諸官署ノ公文

A. 國君ノ公文即チ政府ノ諸布令

B. 審理院并ニ裁判所

C. 「プロブアンス」古州ノ政務

D. 教育、諸学并ニ諸藝術

E. 諸侯、邑會、家農商并ニ家族

F. 諸官署ノ公文ニ属スル雑部

教會ノ公文

G. 半俗ノ僧徒

H. 真ノ僧徒

I. 教會ノ公文ニ属スル雑部

第二表一千七百九十年後即チ諸州ノ公文ノ類集

K. 法律、布令、布達

L. 置州以来共和第八年州長ヲ置ク迄ニ取扱タル政務ニ関スル公文

M. 官吏及ヒ一般ノ庶務

N. 州務并ニ主計

O. 邑務并ニ邑ノ主計

P. 會計

Q. 諸領地

R. 交戦并軍務

S. 工部

T. 教育、諸学并諸藝術

L. 刑部

V、教部

X、諸救恤館社

Y、警察所

Z、雑務

AR ノ類分ニ部ヲ以テ公文ヲ分類スル所ノ規則ヲ行フ可カラス公告、命令、印書等ノ名称アル諸法例ハ邦国ノ教令トシテ存スル者ナルカ故一纒ノ公文巻束ニ綴込マス其ノ関スル各法例ノ部ヨリ抜萃シテ一編トナシ捜索ニ便ス

各類集中各諸部ヲ含ミ各部中又各條ヲ含ムモノナレハ部ト條トニハ各々其記号アリ即チ各類集ニ記号セシ字ノ外各部ニ又其次序ヲ定ムル記号アリ譬ヘハ審理院並ニ裁判所ニ関スル所ノモノハ部アレハ其記号1B（ベノ第一）2B（ベノ第二）3B（ベノ第三）ヨリ8B（ベノ第八）ニ至ル其他諸各部中ノ諸條ニモ亦別段其記号アリ即チ2C(24)或ハ2C/24ノ番号ハCノ類集中第二部ノ第二十四番ニ在ル所ノ條ヲ示スモノナリ平生個條ノ順序ヲ示ス番数ヲ或ハ括弧ノ内或ハ部ノ順序ヲ示ス所ノ線ヨリ異ナル線ニ記シ且右二種ノ番号ニハ殊異ノ墨汁ヲ用ユレハ之ヲ混同スル恐レナシ

若シ他ヨリ公文ヲ交遞セシニ因リ某々ノ部増シ或ハ一ノ類集中ニ新規ノ部ヲ加ヘルトキハ新個條ニ前ニ分類セシ所ノ公文ノ記号ニ聯続スル記号ヲ付シ或ハ又其新ニ増シタル部ヲ示スタメ新ニ類集ニ記号ヲ付スルハ容易ノコトス然リト雖モ若シ偶然ノ事故アリテ不得止部ノ記号ヲ改ルトモ敢テ類集中他部ノ記号ヲ變セサルヲ

可トス

前表ノ類集中ニテ完全ナラサル所アルカ故ニ雑部ト顕シFIナル字ヲ以テ表セシニ類集ヲ備ヘサルヘカラス即チ其一ハ官署ノ公文類集ノ末ニアリ一ハ教會ノ公文類集ノ末ニアリ此二ノ雑部ハ其書類ニ因リ某々ノ類或ハ某々ノ部ト一定シタル類集ニ属セサル部ヲ分類スヘキ為ニ設ケ置クモノナリ

前條ニ反シ或ハ記録庫ニ於テハ右表ノ類集ノ一或ハ数多ニ属スル公文ヲ収藏セサルヿアリ此場合ニ於テ公文ヲ有セサル類集ノ記号ノ字ヲ絶シ備忘トナスニ及ハス即チ州若シ審理院并ニ裁判所ヨリ送付ノ公文ヲ有タサルト見ユレハAノ類集ニ綴ルヘキ公文ヲ分類シタル後ハ「プロブアンス」古州ノ政治ノ類集ニCノ字ヲ付シ而シテ次ニ教育ノ類集ニDノ字ヲ付スヘシ此規則ハ諸州ノ公文目録ヲ一定スルタメニ必要ナルモノトスヘシ

右表中諸部ノ列ヲ定ムルニ次序アリ蓋シ此次序ハ部ノ軽重ニ由テ定ムル者ナリ詳ニ之ヲ言ヘハ即チ事ノ大小軽重ニ由テ部ノ次序ヲ定ムルニアリ又次序ヲ各部中ノ箇條分類ニモ亦施用スヘシ詳ニ之ヲ釋スレハ事ノ公私及ヒ其本末ニ因リ次序ヲ定ルヲ云フナリ譬ヘハ「アベイ」寺観ニ就テ論スレハ即チ右寺観ニ於テ以前此記録ノ全集ヲ分明ナラシムル所ノ目録或ハ寺院ニ付テノ約章朱印付ノ書ニ類スル者ノ冩ヲ載セシ簿冊ノ如シ此二公文ハ公益ニ関スル者ナレハ之ヲ第一ノ次序ニ類列スヘシ又諸侯領ノ地所高ヲ知ラシムル地誌ハ誰ノ民有地或ハ某ノ民有地ニ関係スル所ノ公文ヨリ前ノ順序ニ類列スヘ

シ
一部中ノ諸件ヲ畨ニ區分スルタメ色々注意セシヿアリト雖ドモ屢々諸公文中一定ノ區別ト巻ク、合セサルモノアリ蓋シ此公文ハ殊異ナル甲乙二件ニ相關渉スルニ因ル所以ナリ即チ右ノ場合ニ於テハ此公文最モ甲件ニ關接スル所アレハ甲件ニ綴リ而シテ他乙件ニハ右公文ノ概畧ヲ載テ以テ捜索ニ便ナラシムヘシ

公文ヲ査出スルニ種々ノ方法トシテ其取扱ノ書類ニ随ヒ或ハ年月日或ハ地名或ハ人名ヲ取ルヿアルカ故ニ或ハ年紀或ハ地位或ハアルハベート（我邦ノイロハノ如シ）ニ從テ公文ヲ分類スルヲ要ス例令ハ布令法律或ハ裁判申シ渡シ書ノ類集ニツキテハ年紀ノ序ヲ用ユルニアリ如何トナラハ此等ノ公文ノ査出ヲ求ムル者ハ必ス公文ニ記載ノ年紀ヲ挙クルカ故ナリ

各邑ノ書類ニ付テハ土地ノ位置ヲ擇ヒ次序ヲ立ツヘシ但シ公文ノ査出ヲ需ムル人ハ常ニ邑名ヲ記スレハナリ是ヲ以テ一郡内ノ諸邑ニ關スル公文包束ヲ集メ然シテ各郡ノ部内ニ此公文包束ヲ邑名ノ頭字ナルA、B、C、ノ序ニヨリテ分類スヘシ又各件ニ付テハ一郡内ノ諸邑ヲ又分轄スル各縣ニ從ヒ此件ヲ分類スヘシ此場合ニ於テ諸邑ノabcノ序ハ各縣毎ニ定ムヘシ若シ單ニ一邑ニ關スル公文包束許多アレハ年月ノ序ニヨリテ此包束ヲ分ツヘシ公有地ノ證書ハ邑ノ書類トシテ分類スヘキモノナリ人民一身ノ公文ニ付テハ人名ノABCノ序ヲ用ヒ之ヲ分類セハ其公文ヲ捜索スルニ容易ナルヿ瞭然タリ然リト雖ドモ政區在勤ノ官吏ニ於テハ其公文ヲ分類スル

ニハ地方區畫ノ次序ヲ擇ミ用ユヘシ即チ郡長（原語ノ字義ハ副知事ノ謂ナリ）治安裁判役及ヒ邑長ノ仕官ニ関シタル公文ノ包束ハ左ノ如ク分類スヘシ郡長（副知事）ノ公文ハ郡ノ部ニテ治安裁判役ノ公文ハ縣ノ部ニテ邑長ノ公文ハ邑ノ部ニテ分類スヘシ

右畢テ公文類集ニ文字ヲ記スルハ即チ大區別ヲ立テ一切ノ公文ヲ分類スルカ為ナリ然レトモ一部中ノ各個條ニ確当ノ番号ヲ付スルニハ部ノ分類全ク畢ラサルウチニナスヘカラス故ニ公文館監事ハ此各種ノ個條ノ聯続スヘキ順序ヲ了知シ而シテ各個條ニ確當ナル記号ヲ付スルヲ得ヘシ監事ハ格段一部ニツキ右ノ分類ヲ取扱フ間ハ其他ノ諸部ニ付テハ牌子ニ付シタル假ノ番号ヲ存スルヲ要トスヘシ蓋シ誤失ナク公文分類全成シ此牌子ヲ廢棄スル迄ハ監事之ヲ査出スルノ具トナスヘシ

第七項　公文目録冊及ヒ額表

一部中ノ各個條ニ確当スヘキ番号ヲ付スルニ随ヒ牌子ヲ脱スル前ニ監事ハ公文ノ撮要ヲ掲クル公文目録一冊ヲ編成スヘキカ故ニ監事ハ各公文類集ニ付キ格別ニ目録一冊宛ヲ編スヘシ但シ目録冊中記録セシ所ノ紙葉ノ次ニハ白紙ヲ餘スヿヲ要ス蓋シ此餘白ハ陸續公文ノ追加改正スルモノヲ登録スルタメニ備フモノナリ

又公文ノ総分類ニテ定メ且各類集目録ニ再ヒ記載セシ大小二別ノ全集ヲ一覧表ニ概挙スルヲ緊要トス此表ニ頼レハ何人タリトモ一目ニテ公文分類ノ趣向ヲ了識スル得ヘシ

今又前文ニ記シタル諸般ノ取扱方ヲ完全ナラシムル為

ニハ只各公文類集ノ目録ニ包有スル所ノ個條ニ付ABCノ額表ヲ作ルニ在ルノミ此額表ハ牌子ノ上ニテ作ルヘシ各牌子ニ記載スヘキモノハ即チ其第一捜字第二時宜ニ因リテハ捜字ノ註解第三類集ノ記号並ニ個條ノ番号是ナリ此各異ノ牌子アリテ正シクABCノ次序ヲ為スヲ得ヘシ又斯ク記号ヲ付シタル諸牌子ヲ悉ク雑集スルモ更ニ混同迷忘スルノ憂アルヿナシ（一千八百四十一年四月二十四日ノ告状）

公文目録ノ本書ハ公文館ニ収蔵シ而シテ本館ニテ又之ヲ寫シ更ニ刊行スヘシ其公寫一冊ハ内務卿ニ進呈シ且王國ノ大公文館ニ収蔵スヘシ（一千八百三十九年八月八日ノ告状）

第八項　公文定期収蔵ノ事

諸局ニ於テ常務ニ用ナキ公文ノ把束及ヒ其簿冊ハ毎年四月ノ収期ニ公文館ニ収蔵スヘシ各局長ハ諸書付ヲ各件ニヨリ集合シ且規則ニ準シ分類シ以テ各把束トナシ而シテ公文畧記二通ヲ作ルヘシ但シ其公寫ノ一ハ公文撿査ノ後公文館監事ノ受納證書ト大書記官調査證書ヲ添ヘ局長ニ返付スルモノナリ

土木課並ニ建築師ハ其事務ニ付公文ヲ要スル時之ヲ取調ルカタメ収ムヘキ公文ノ詳細記簿ヲ作リ前以テ公文館ニ出スヘク而シテ此公文詳細簿受納ノ上其寫ハ監事受納證書ト大書記官ノ調査證書ヲ添ヘテ土木課ニ還付スルモノナリ政務上ノ公文漸次増加スレハ諸公文ニ總番号ヲ付スル法式ニ因リ之ヲ各類集ノ小分ニ綴リ込ムヘシ但シ右ノタメ既ニ成就シタル分類ヲ變改スルヿナ

カルヘシ各件毎ニ小分シ之ニ番号ヲ付スヘク一ノ小分ニ綴込ミタル諸件或ハ綴込ムヘキ諸件ノ條目ニハ巻皆番号ヲ付スヘシ蓋シ此番号ノ漸次増加スルハ公文ノ増加ニ随フ所ナリ「一千八百四十一年四月二十四日ノ告状」

新ニ公文館ニ收藏セシ諸公文ヲ分類スル時ニ於テハ尚後貯存スヘキ公文ト期限ノ後ハ售賣スヘキ公文ト調査撰抜スヘキカ故ニ只貯存スヘキ所ノ公文ニノミ書印ヲ押付スヘシ「一千八百四十三年三月六日ノ布令」

監事ハ州長ノ指令参事院（州廳ノ一局）ノ指令州會及ヒ郡會ノ議事書官刊ノ日誌諸省ノ回達書発明免許状及ヒ政府ヨリ州廳ニ付セシ諸書類ヲ編輯シ一全書トナシ而シテ之ヲ出版スルコトニ付注意ヲ加フヘシ公文館ニ於テ発行スル政務上ノ公文全書ニ十部ヲ作リ其内二部ヲ公文館ニ備ヘ置クヘク其他ハ州長ノ指令ニヨリテ分與スヘキ者ナリ州廳ノ扶助ニテ刊行セシ諸公告ハ寫ハ公文館ニ貯藏スヘシ

第九項　公文ノ捜見并ニ交付ノ事

人民ニ公文ヲ交付スルニハ其費ヲ要セス又之ヲ轉移スルヲ禁スルカ故ニ只公文局ニヲイテ監事或ハ其屬吏一名ノ面前ニテ公文ヲ縦観スルヲ許ス

一般ノ規則ニ從ヘハ公文ヲ同時ニ縦観スルニハ一束ヲ限リトス

「公文捜索ノ請求ニツキ決シテ税ヲ課スルコトナカルヘシ」

公文捜索ヲ願フ者ハ其請求ノ趣旨ヲ書面ニテ上申スヘシ但シ右願書ニハ其姓名職業并ニ住所ヲ録シ且押印スヘシ大書記官右ノ願意ヲ許可スル時ハ願書ノ末ニ許可

ノ字ヲ書スヘシ
人民各自ノ私益ニ関スル諸公文ハ其調査ヲ請フヘキ相當ノ身分ノ人ニアラサレハ之ヲ交付縦覧セシメス若シ其請求ヲ允許セサル時ハ其旨ヲ書面ニテ申達スヘシ
人民一身或ハ其家族ニ関セシ公文ノ交付ハ州長ノ允許ノ上ニ非ラサレハ之ヲ許サス
人民ヨリ願立タル公文捜索ノ願書ヲ登載スル為メ一簿冊ヲ備フヘシ
公文館ニ収蔵シタル一公文或ハ一把束ヲ州ノ公務ニ必要アル時ハ其該官ノ局長右公文借用ノ約期中紛失等一切ノ責ニ任スヘキヲ以テ其交付アランヿヲ請フヿヲ得ヘシ故ニ約定期限ニ至テハ監事ニテ交付ノ書類返納スヘキヲ催促スヘシ但シ延期ハ大書記官ノ決ヲ取ラサレハ之ヲ許スヲ得ス
右ノ如ク公文ヲ交付セシヿヲ録スル所ノ一簿冊ヲ備ヘ以テ公文交付ヲ請求セシ日付、公文ノ種類、官吏ノ姓名共ニ其職掌、公文交付ノ日限、公文受授ノ月日ヲ登録スヘク又公文ヲ出ス節ハ局長ハ此冊紙ノ餘白ニ押印スヘク又之ヲ受納スル節ハ監事ニテ之レニ押印スヘシ之ヲ交付セシ監事ハ公文ノ属スル巻束ニ右公文分類ノ記号ト此交付記録冊ノ番号トヲ掲クル片紙ヲ挟ミ置クヘシ
凡ソ公文館ニ於テ庶民ニ交付スル所ノ公文又諸局ノ公務ノ為メニ本館ヨリ出ス所ノ公文ハ皆書印ヲ付セサルヘカラス故ニ若シ編成ノ公文目録アラハ又目録ノ番号ト標字トヲ右ノ公文ニ書載スヘシ

第十項　公文ノ公冩及ヒ抄録

公務ニ付公文ノ公冩或ハ抄録ヲ付与スル時ハ之ヲ受クル所ノ諸局課ニテ右書末ニ其旨ヲ記載スヘシ

地圖ノ公冩ニ付テハ諸局課モ亦人民ト同ク冩費ヲ拂ヒ圖工ノ好手ナル者ニ托シ公冩セシムヘシ

公文公冩或ハ抄録ヲ要セシ所ノ局長右ノ抄録或ハ公冩ニテ不足ト判決スルトキハ公文本書ノ交付アランヿヲ州長ニ請求スヘシ此場合ニ於テ州長之ヲ允許スレハ公文館ノ交付記録簿ニ記載スル外尚此公文ノ詳細ナル控書ト之ヲ返納スヘキ期限ノ條約トヲ記載セシ受取書ヲ右ノ局長ヨリ出シテ以テ公文交付ノ證トス

公文館ニ収藏ノ公文公冩或ハ抄録ハ願書ヲ差出シ且大書記官ノ允許ノ上ニ非ラサレハ監事之ヲ庶民ニ下付スヘカラス蓋シ大書記官ハ独リ允許セシ公文ノ公冩或ハ抄録ニ押印スルヲ其職掌トス監事ノ職ハ真偽ヲ撿査スルヿニ注意スルニ在リ但シ右公文ノ公冩ニハ悉ク州廳ノ印ヲ付スヘシ一定ノ公冩費及ヒ其税ハ法律ニ準シ公冩紙端ニ登記スヘシ

公冩及抄録ニ付キ請願人ノ姓名并ニ職業公冩ノ種類「ロール」（紙二枚ヲ云フ）ノ數、課税高、課税ノ月日、及ヒ収税ノ日ヲ録スル簿冊ヲ備フヘシ公務ニ付キ無税ノ公冩或ハ抄録ヲ允許セシ旨ヲモ亦此公冩抄録ノ簿冊ニ登記スヘシ〔一千八百四十三年三月六日ノ規則〕

第十一項　不用ノ公文廢棄及ヒ售賣ノ事

官署ヨリ毎年州ノ公文館ニ収メシ諸公文中長キ年月ヲ經タル後ハ多サ無用ノ者トナルカ故ニ之ヲ廢棄スルヲ得ヘシ然レ𪜈屡々此類ノ公文且又永遠保存スヘキ諸証

書ヲ誤テ速ニ廢棄セシ不注意ヲ来セリ
如此キ不都合ヲ避ンカ為ニ之ヲ検査及ヒ許可スルニ付預定ノ法式ハ一千八百三十五年十一月九日、一千八百三十九年八月八日、及ヒ一千八百四十四年六月二十四日回達ニテ制定セシ者ナリ但シ千八百四十四年六月二十四日ノ回達ノ大旨意ハ廢棄スヘキ公文ト保存スヘキ公文トヲ區別スルヿニ付監事ノ心得規則ヲ規定スルニ在リ」
凡ソ保存スヘキ公文左ノ如シ

第一　大政府諸州、邑、敎會主税局、諸救恤院及ヒ人民ニ交渉スル諸証書、決議指令書

第二　文学、理学、藝術、古字学、風土学、或ハ國勢学ニテ穿鑿ノ為メニ恭考ニ備フル諸公文

公文纂集ノ全部中ニハ廢棄スヘキ公文ト保存スヘキ公文ト共ニ存スルト雖モ之ヲ區分セスシテ全ク保存スヘキヿ屢々アリトス
一千七百九十年前ニ屬スル諸公文ノ類編ハ概テ保存スヘキ者トスヘシ
永遠保存スル類ニアラサル公文トハ政務ニ辨用ナキニ因リ収期ニ取リ纏メテ公文館ニ収メタル者ヲ謂ナリ凡ソ廢棄スヘキ公文左ノ如シ

五十年ノ期限後

各抽兵名簿（ケリストケユテラーゲ）
但シ陸軍裁判所ノ評議并ニ州ノ兵員名簿ハ注意シテ保存シ置クヘシ

三十年ノ期限後

路票ノ割符帳

州ノ會計検査以来出セシ其憑據トスヘキ書類
但シ正算簿冊、州ノ特権、又ハ免除ヲ確定スル所ノ證書、
歳入歳出帳、検印帳、及ヒ州治表トモナルヘキ記録ハ保
存シ置クヘシ
各邑費出納帳、諸救恤院或ハ其他ノ出納帳ニ關スル證書
但シ収税吏或ハ會計吏ノ正算帳、邑ノ特権又ハ其免除
ヲ確照スヘキ一切ノ證書、建築ノ繪圖面、共ニ建築費見
積書、建築落札人請負書、落札ノ始末書、入費請取證書ハ
保存シ置クヘシ
収納濟ノ直税名簿
出費ノ指令書及ヒ交換ノ證書
種痘證書共ニ其入費仕譯書
二十五年ノ期限後
軍役免除及ヒ交替ノ指令ニ付其憑據トスヘキ證書ハ
二十年ノ期限後
徴兵ニ付キ邑長ニテ編制ノ兵員名簿
撰挙權利ヲ定ムル所ノ奉仕状、借用條約、出産證書、等ノ證
書
但シ此等ノ公文ハ請求ニ因リテハ受取證書ト引替ニ
テ其領主ニ付與スヘシ主計寮ノ収税吏及ヒ支給吏ノ
勘定帳共ニ書類
十五年ノ期限後
裁判入費ノ規則ニ關係スル書類
十年ノ期限後
増税収納人名簿、及ヒ歳出歳入見積邑路ニツキ前納スヘ
キ租税高ノ發言、小学校営繕ノ歳費、小学教師ノ月給ヲ定

ムルヿ、及ヒ公費生徒ヲ徴挙スルヿニ関係スル邑會ノ議
事書ノ公冩
直税ニ付テノ発言書且右ノ発言書ニ附属シタル諸書類
八年ノ期限後
直税収納ノ時ニ用ヒシ直税割符帳
路票ノ願書
但シ其文面ヲ別冊ノ控帳ニ登記スル後之ヲ廃棄スヘシ
兵器所持及ヒ獣猟ノ願并ニ其免許割符帳
六年ノ期限後
護国隊（ガルドナシヨナール）士官撰挙ニ関セシ明細書
但シ別冊控帳ニ撰挙ノ結局ヲ登記シタル後ハ之ヲ廃棄スヘシ
撰挙人及ヒ陪審士ノ人名表、編制ノ節用ヒタル収税人名簿ノ抄録、及ヒ此抄録ニ基キ作リタル人名表
人名表再検ニ付参考トナルヘキ単書（ビユルタン）并ニ其他ノ書類
邑會議員撰挙ニ関セシ明細書并ニ其他右ノ撰挙ニ関スル書類及ヒ邑會議員撰挙人ノ名簿
但シ邑會議員撰挙ノ効成ヲ詳細登録シタル別冊ヲ有シタル上ハ右ノ書類ハ廃棄スヘキ者トス
五年ノ期限後
邑ニ於テ書出シタル「モビリザアブル」移動スヘキノ人民ノ身分証書類更ニ其改正ノ者アラサレハ廃棄ノ書類トナスヘカラス尤邑ノ總民身分帳ハ保存シ置クヘシ
物品運送取締規則ニ違式ノ者ノ始末書汙（汚）穢腐敗物等ニ関係スル公道規則ニ違式ノ者ノ始末書
但シ道路ヲ侵奪スルヿ許可ヲ経スシテ家屋ヲ建造ス

ルヿ或ハ町家ノ軒ニ付関係ノ書類ハ保存シ置クヘシ
棄児救育ノ月費ニ付邑長ヨリ出タセシ養育證書
地方理事局ノ意見ニヨリ且又内務卿ノ許可アラサレハ如何ナル公文ト雖モ之ヲ售賣又ハ廃棄スルヲ得ス
地方理事局ノ吏員ハ州長之ヲ命スヘシ地理課ノ長或ハ其属吏一人ヲ必ス此局官吏ノ一員トス州ノ大書記ハ常ニ其席長タルヘク公文館監事ハ右局ニ在テハ書記ノ職ニ代理スルヲ得ヘシ故ニ何レノ時ニテモ大書記ノ権ヲ有スル者ナリ
售賣スヘキ公文ノ明細録ハ二通ノ公写ニテ内務卿ニ進呈スヘシ
此目録ニハ尤ノ如ク別記スヘシ
一政府ノ得益ニ付テ賣ルヘキ公文
二州ノ得益ニ付テ賣ルヘキ公文
目録ヲ分テ六門トス即チ左ノ如シ
第一諸條書莢冊子把束ノ記号、第二各條中ノ證書ノ負数、第三售賣スヘキ公文ノ種類ノ記号、第四公文ニ記載ノ年月、第五地方理事局ノ意見、第六内務卿ノ指令
監事ハ先ツ售賣スヘキ公文ヲ擢出シ而シテ其目録ヲ編成スヘシ
地方理事局ノ意見ヲ記載スルタメ設ケタル門ニ記セシ各條ノ記号ハ即チ其條ノ廃棄スヘキヲ示スモノナリ
諸公文中差文ナク販賣シ得ヘキ者左ノ如シ
刊行ノ書類、掲示ノ書類、主計ノ書類護國隊ノ書類等是ナリ
然レ氏官吏ノ印アルカ或ハ各局各課其事務ニ付心得置

リヘキ事件ヲ記載セシ書類ハ重キ差支ナクシハ販賣スルヿヲ得サルモノトス即チ左ノ如シ

古キ路票、囚人路票ノ劄符帳、兵器所持ノ願書、輕罪ニ関セシ諸證書、裁判入費記録簿、旅行免状、諸證據書、身分證書ノ抄録及ヒ其他陸軍再撿會議所ノ決定或ハ兵士ノ交替黜陟ニ付憑據トスヘキ公文類等

右等ノ公文ハ州廳ヨリ出張ノ代理人目前ニテ剪刀ヲ以テ之ヲ損毀シタル上售賣スヘシ

凡ソ公文ノ售賣ハ目録税收納ノ官吏ト地理課ノ官吏トノ立合ニテ行フヘシ（一千八百二十二年七月十四日ノ布告第三條）

理計官吏ヨリ州廳郡廳ノ公文館ニ収藏セシ古キ記録簿冊等ヲ售賣セシ其價銀ハ政府ノ得益ニ属ス又佛蘭西國内州ノ政區ニ分畫以前ノ書類ニシテ即今無用ノ公文ニ於ケルモ亦然リ

前文ニ挙ケサル諸公文售賣ノ價銀ハ州ニ属スルカ故ニ準備銀トナシテ州ノ大収税吏ノ金箱ニ収納スヘシ（一千八百三十五年十一月九日ノ告状）

第四章

郡ノ公文館ヲ論ス

夫レ郡ノ公文館ニ収藏ノ書類ハ一千七百九十年以後ニ設ケシ州ノ公文館ニ存スル所ノ書類ト其種類相類似スル者ニシテ州ノ公文ノ附属ト看做スカ故ニ州ノ公文館ニ行フ法式ニ因リ均シク之ヲ分類スヘシ郡ノ公文館ニハ永遠保存スヘキ記録及定期ノ後廢棄スヘキ記録ヲ保存ス郡長（副知事）記録ヲ廢棄スル時ハ廢棄スヘキ所ノ書

類ヲ州廳ニ送致スヘシ送致セル所ノ書類ハ悉皆纏メテ或ハ書筴トナシ又把束トナシ而シテ之ニ標題ト記号トヲ付シ且又規則ニ準シ綴リタル明細表即チ目録ヲ添ユヘシ此ニ於テ州ノ公文館監事ハ之ヲ撿査シ而シテ州府ニ於テ售賣スヘキ公文ノ部中ニ加フヘシ一千八百三十九年八月八日ノ回達一千八百四十四年六月二十四日ノ回達郡廳ノ公文館ノ書類保存分類ノ費ハ是マテ郡長ヨリ其費用ヲ支給スヘキヿノ定メアリシカ然ルヲ数多ノ州會ニ於テ公文館ノ設立又其事有ノ事ニツキ数々準備金ノ事ヲ発言シ又同時ニ郡ノ公文分類及其目録編集ノ入費ヲ議定セリ

第五章

邑ノ公文ヲ論ス

邑長ハ邑政ニ関セシ證書簿冊一切ヲ管守スト雖モ別ニ其本職アルノ故ヲ以テ只公文ノ受託者ナルノミ右ノ公文ハ規則ニ從ヒ政務ヲ速ニ挙ケシカ為必要ナル上官ノ往復文書、指令書ノ如ク邑務ヲ行フ所ノ邑政官吏ノ照考ニ之ヲ供セスンハアル可カラス是ニ因テ邑ノ公文ハ各邑吏ノ用アルコトニ必ス遺失ナク此ヨリ彼ニ送付スヘシ

第一項　公文引渡并ニ其看守責任ノ事

共和第八年花月十九日政府ノ指令ニ因リ設ケシ規則ニ從ヘハ邑長其職ヲ退ケハ邑ノ政務ニ交渉スル所ノ記録及ヒ簿冊ハ一切奉命セシ交代ノ邑吏（新任ノ邑長ヲ云フ）ニ引渡スヘシ或ハ若シ交代ノ邑吏未タ命セラレサレハ暫時代理スル所ノ委員ニ之ヲ引渡スヘシ

右引渡ノ事ハ始末書二通ヲ以テ證スヘシ其一通ハ受托ノ任ヲ解クタメニ退職ノ邑長ニ付シ一通ハ邑廳ニ備ヘテ以テ新任ノ邑長ニ其責任アル所ヲ示ス

邑ノ公文館附屬ノ器具ハ右同樣二通ノ始末書ニ照シ引渡スヘシ

退職シタル邑長若シ公文目録ヲ編ム丁ヲ辞スル場合ニ於テハ郡長此事務ニ関カルヘキ委員ヲ命シ在務ノ邑長ト立合ニテ公文目録ヲ作ラシム

邑長死去ノ場合ニ於テハ其相續人邑廳ニ附屬ノ簿冊又委托ヲ受ケシ簿冊ニ付キ始末ヲ付ケサルヘカラス郡長ハ直ニ右相續人エ其父ニ委托セシ簿冊ヲ受取ル丁ヲ請ヒ求ムヘシ而シテ此受取リタル物件ノ目録二通ヲ作リ其一通ヲ嗣子即チ相續人ニ付スヘシ

凡ソ總テノ場合ニ於テ右ノ始末書ハ邑廳ニ存セサル諸書類簿冊共ニ附屬品ヲ詳細ニ表示スルモノナリ若シ右物件本廳ニ存セサル時ハ即チ此始末書ヲ以テ先邑長ノ責任タル丁ヲ明示センカ為ナリ一千八百四十二年六月十六日ノ告状

第二項　公文保存ノ事

邑政官吏ノ第一トスル要務ハ諸公文ヲ能ク保存シテ濕氣火災及ヒ其他ノ損害ヲ預防スルニアリ又右ノ書類外人ノ手ニ落チ及ヒ盗奪又ハ遺失セサル樣殊ニ心ヲ用ヒサルヘカラス

市事會所（ラテルツ井ユ）アル各邑ニ於テハ平生諸公文ヲ置ク為ニ帳櫃（タワーツト）書架（カシエール）紙筐（カルトン）ノ具共ニ鍵ニテ開閉スル部屋一箇或ハ一室ヲ設ケ置クヘシ

邑廳ハ只書記課及邑會議所ニ設ケタル一室ノミナレハ架子并ニ紙筐ノ具エアル戸棚(アルモアール)ヲ設ケ置クヘシ而シテ此戸棚ヲ甲乙二部ニ分チ其甲ニハ最モ古ク且ツ貴重スヘクシテ稀ニ参考スヘキ公文ヲ入レ常ニ戸ヲ閉チ置クヘシ乙ニ常務ニ交渉シタル書類及ヒ簿冊ヲ入レ置クヘシ

里廳ノ設ケナキ各邑ニ於テハ収藏ノ公文ハ邑長ノ居宅ニ保存スルカ故ニ邑長ハ之ヲ特別ノ櫃筐即チ書庫ニ入レ置キ常ニ看守スルヲ要ス蓋シ邑政官吏交代ノ節諸公文ヲ櫃筐ニ入ルレハ錯雜スルノ恐ナク且又之ヲ運搬スルニ容易ナルカ故ニ櫃筐ハ戸棚ヨリ尤モ好適ナル者トス

邑ニ属スル諸公文ニハ必ス邑廳ノ印ヲ押付スヘシ

第三項　公文ノ分類及ヒ目録冊ノ事

邑長交代ノ節間違ナク公文ノ引渡ヲ取扱フ為公文目録ヲ編ミ刊行シ置クヿヲ要ス夫レ免職ノ者ト拜職ノ者トニテ只此目録ニ記載セシ書類ノ現ニ存スルカヲ調査スルノミ外ニ事務ノ引渡シアラサレハナリ

第四項　分類ノ法式

公文ハ各邑政務ノ大小且繁閑ニ因リ多少ノ増加アリト雖モ其多寡ニ拘ハラス都テ之ニ一定ノ公文分類ノ法式又分類ノ表式ヲ施行スルヿヲ得ヘシ

公文ノ順序ヲ立ルニハ左ニ掲クル二事ヲ行フヘシ

第一　書巻、簿冊或ハ書付ハ其件ノ次序ニヨッテ類別スヘキヿ

第二　諸公文ノ各件ハ一二ノ小分類中ニ分配スヘシ蓋シ此小分類ハ證書ノ種類一切ヲ包有スルモ

ノナリ

先ツ各件ヲ辨知シ及ヒ之ヲ區分スル丁ニ着手スヘキ事務ヲ行フニ書物或ハ簿冊ニ就テハ容易ナリトス類集ニ屬スル者ハ年紀ノ序次ヲ以テ之ヲ書架ニ整列スヘシ法律(ヒユルタン・テロワー)全書、政令類成、等ノモノハ前条ノ如ク分類スヘシ書付類ニ付之ヲ一束トナサンカ爲ニハ先ツ同シ事務ニ屬スル所ノ書付ヲ捜索スヘシ各束トナスヘキ諸書付ハ年月ノ次序ニヨツテ纂集スヘシ

書類許多ナルカ故隨テ一舘社或ハ一局或ハ一課即チ同シ件ニ交渉スル所ノ諸公文把束許多ナレハ迷ク之ヲ一ノ紙筐ニ集ムヘク若シ紙筐ナキトキハ書筴ニ包ミ込ムヘシ假令ヘハ山林(レーサファーーチ)伐木ノ免許ニ關スル件ノ如キハ養苗(バリワーゼ)ノ事ニ付キ別段ノ把束一アリ。右等ノ各把束ヲ纏メテ山林伐木免許ノ紙筐又ハ書筴ト成スヘキ一件ニ關セシ書束ノ数甚タ許多ニシテ一ノ紙筐ニ入レ又ハ一ノ書筴ニ入レ難キ者ハ分ツテ幾何ノ紙筐或ハ書筴ニ入ル、ヘシ右ノ事畢レハ分類ニ取掛リ目録ヲ編成スヘシ公文ノ分類ト目録ノ編成ハ同時ニナスヘシ

各邑ノ公文ハ一般十五類集ニ區分ス

伐木ノ事ニ付テ把束一アリ林材ゟ与ノ事ニ付テノ把束一アリ。

A. 法律
B. 州廳ノ布達書類
C. 雜書
D. 邑廳ノ達書類
E. 民生証書
F. 人口及ヒ人口表

G. 租税

H. 軍務

I. 警視

K. 官員

L. 會計

M. 公同ノ財産

N. 邑ノ共有ノ財産

O. 道路取締

P. 雜部

公文ヲ合成スル各種ノ書類ハ右區別ノ類集ニ準シ邑廳ニ整列スヘキモノトス

公文目録ハ邑長ニテ番号花押ヲ付セシ簿冊子ニ記載スヘシ

證書ノ大小ニ随ヒ一葉或ハ數葉ヲ各部類ニ綴リ込ムヘク而シテ右部類冊尾ニハ追補ノ為メニ白葉ヲ餘シ置クヘシ

各類集ニハ其記号トシテABCノ字ヲ付シ又其中ニ包有スル所ノ各條ニ付スルニ番号ノ次序アリ各條ニハ番号ノ外其属スヘキ類集ノ記号ヲ付ス

各公文類集ヲ表示スル所ノ文字ヲ目録ノ冊首ニ記スヘシ又各條ノ番号ハ其属スル部類ノ文字ト相對スル如ク付スヘシ

第五項 公文目録刊行ノ事

毎年邑長ハ歳費額見積帳ヲ作ル邑會ノ會合ノ時其會ニ公文目録ヲ差出スヘシ但シ右ノ目録ヲ送付セサル前未タ之ニ登記ナキ書類ノ目ヲ追加スヘシ蓋シ追加ハ目録

中ノ各部類ノ末紙ニ追録シ而シテ検印ヲ付シタル上追
加録トス

各年末ニハ必ス其ノ年ノ法律全書及ヒ政令類成ノ番号
ヲ目録ニ編輯スヘシ

第六項　公文検査ノ事

公文検査ハ必ス邑政官吏ノ交替ノ時ニナスヘシ即チ目
録ニ記載ノ書類物品ハ悉皆存在スルカヲ調査スルヲ謂
フナリ

目録ノ末ニハ始末書ヲ寫シ此書ニハ検査ニ出會セシ者
ニテ調印スヘシ若シ不足ノモノアレハ目録ニ記号ヲ付
シ而シテ新任ノ邑長ハ直ニ郡長ニ其趣ヲ報告スヘシ
續テ職ニ在ル邑長ハ検査ニ立合サル可カラス蓋シ此検
査ノ始末書ハ即チ公文及ヒ附属ノ器具ニ付其責任アル
所ヲ明示スヘキ者ナリ

邑長或ハ副邑長不在ノ時ハ列席表ノ順席ニ因リ邑會議
員中ヨリ一名検査事務ニ出會スヘシ

邑長交替ノ時ハ其新任ノ始末書ト検査ノ始末書トノ公
寫ヲ郡長ニ送達スヘシ

目録并ニ検査始末書ノ公寫ハ州ノ公文館ニ収藏スヘシ

第七項　邑ノ舊公文

凡ソ邑ノ公文中一千七百九十年前ノ公文ト其後ノ公文
トヲ區別ス

邑ノ舊公文ハ左ノ如ク分類ス

法律、及ヒ政府ノ布令書

特別免許、慣習、條約、邑區設置ノ布令書、邑内取締規則、
邑廳邑會ノ構成等ヲ登記セシ簿冊書籍或ハ約章

邑會ノ議決書

邑ノ裁判所ノ判決書

収税簿及ヒ収税人名簿、撿地帳(カタストル)、候伯領地誌、歳出及ヒ歳入書

邑務ニ関セシ往復文書ヲ載スル簿冊共ニ書類

邑民ノ債券及ヒ地券、訴訟

工職棟領共工職會社

凡ソ此ノ如キ公文ハ別ニ増加スルヿナキカ故ニ舊公文ノ全集ニ付テハ要スルニ唯一行ノ番号ヲ付スルニ在リ

右ノ公文分類一タヒ成就セハ目録ニアル如ク之ヲ保存スルヲ要トス

舊公文中讀ミ難キ書類アル時ハ里長其畧記ヲ州廳ニ逓送スルヿヲ得ヘシ但シ此畧記ノ紙ハ平常ノ紙若シクハ羊紙ヲ用ヒ且成ル可クハ其年月及ヒ主意ヲ挙示スヘシ

州ノ公文館監事ハ此畧記ニ従ヒ撿査スヘキ公文ノ如何ヲ邑長ニ知ラシムル故ニ邑長ハ大切ニ右ノ公文ヲ州廳ニ送リ而シテ同廳ニ於テ監事ハ右公文ノ緊要ト否トニ隨テ或ハ原文ヨリ抜抄或ハ其寫ヲ本書ト共ニ邑長ニ再ヒ送致ス右ノ公文歴史上ニ有益ノ事ナレハ其公寫ノ一通ヲ州ノ公文館ニ収藏スヘシ

舊古ノ者ニシテ且貴重スヘキ公文ノ保存本邑ニテハ十分ニ保證シカタキ場合ニ於テハ邑會ノ公諾ヲ經タル上右ノ諸公文ノ一分ヲ州ノ大公文館ニ藏スルヲ得ヘシ監事ハ右公文ヲ撿査シ而シテ其詳細ナル目録ヲ作リ其一通ノ公寫ハ邑ニ送付シ又其他ノ一通ハ公文館ニ収藏シ置クヘシ蓋シ邑政官吏ハ平生此目録ニ因リ其管理ノ事

務ニ関スヘキ証書ハ如何ナルモノカヲ探索スルヲ得シ邑政官吏ハ本邑至要ノ諸權利ニ關渉スル所ノ公文ノ証正ナル公寫ヲ公文館ヨリ交付セシムルヲ得ヘシ

斯ク公文ヲ二様ニ保存シ其正寫ハ地方ノ政廳ニ付シテ以テ日々ノ參考ニ便ナラシム終リ又邑ノ權利ヲ保全スルコニ付不得止公文ノ本書ノ參考ヲ請フ場合ニ於テハ州長之ヲ邑長ニ其請取證書ト引替ニ交付スヘシ

州長ニテ保證セシ公文目録ハ公然タル憑據書ナリ故ニ州ノ大公文館ニ収藏ノ公文中各邑ニ所屬ノ公文ノ展覧恭考及ヒ其交付ヲ請ハシムル爲右目録ヲ渡シ置クヘシ是ヲ以テ公文収藏所ヲ設タル諸邑ハ其公文ノ交付ヲ請フコヲ得ヘシ

第八項　公文交付ノ事

公文ヲ交付スルモ吏ニ障碍ヲ生スルコナキ時ハ之ヲ交付スルヲ得ヘシ右場合ニ於テハ省守吏ノ面前ニテ費ヲ出サシメス又轉移セシメスシテ公文ヲ交付スヘシ〔一千八百四十二年六月十六日ノ告状〕

邑内収税ノ民邑會議事書ヲ轉移スルナヲ縦観セントスルニ其交付ヲ拒ムヲ得ス〔一千八百三十一年三月二十一日ノ法〕

田地ニ関セシ書類ヲ轉移スルニ付テハ一般公益ニ付詮管ノ御之ヲ許可セシ指令アラサレハ決シテ之ヲ轉移スルコヲ得ス詮管ノ御ノ指令アル時ハ邑長右ノ書類ヲ受取リタル官吏ニ受取證書ヲ請求スヘシ他ノ場合ニ於テ特ニ私益ニ関スルトキハ邑長全ク之ヲ拒ムヘシ若シ諸證書ヲ吏ニ寫スコアレハ其費用ハ邑ノ負擔トナルカ故

ニ邑ハ専ラ其保存ニ焦慮セスンハアルヘカラス

第九項　公文ノ公冩及ヒ抜抄

公冩及ヒ抄録ニ付テノ税則ハ共和第二年菊月七日ノ法ニ基クモノナリ然レトモ一千八百〇七年七月十二日ノ法令ニテ民生證書ニツキ特別ノ規則ヲ制定セリ

第六章

諸救恤所ノ公文ヲ論ス

諸救恤所ハ専ラ其公文ヲ保存整頓スルコトニ注意スルヲ緊要トス如何ニトナレハ其歳納ノ費金額多クハ民有地及ヒ地税ニヨルカ故ナリ邑長ハ右ノ事務ニツキ州政参員ト共ニ議談合スヘシ

凡ソ諸救恤所ノ公文左ノ如シ

議事書

出納帳

諸役吏ニ関セシ書類

所有ノ證書、遺囑ノ贈遺書及ヒ存生中ノ贈遺書、庶務ノ簿冊

右區別ヲ以テ公文分類ノ表トナスヲ得ヘシ

此特別ノ公文庫ハ邑廰カ或ハ救恤所ニ供用シタル家屋建造所ニ在ルカヲ問ハス此公文目録ト邑廰ノ公文目録トハ必別ニ編輯スヘシ　一千八百四十二年六月十六日ノ告状

第七章

教會主税局ノ公文ヲ論ス

教會主税局ノ収納及ヒ其庶務ニ関係スル證書類且又特ニ計算書并其證據書、議事書、其外日記、證書ノ畧記、及ヒ目

録即チ調査簿冊ハ箱或ハ書棚ニ貯蔵スヘシ（一千八百九年十二月三十日ノ布告）

公文目録ハ無費ニテ編制スヘシ但シ此目録ニハ各証書中ニ記載ノ田地、収納局、及ヒ主税局ニ寄附金ノ代リニ付与セシ田地ノ高ヲ明詳ニ登録ス

公文ノ増加改正或ハ其他ノ変更ヲ載挙スル為毎年調査録ヲ検査スヘシ此目録ニハ「キユレ」僧官或ハ主税局長ニテ記スヘシ

主税局ノ書記ハ番号又年月ノ次序ニ因リ畧記ニ左ノ公文ヲ登録スヘシ

第一 寄附財産ノ證書及ヒ所有地ノ証書

第二 借地券（ボオドベルム）并ニ借家券（ボオドワイエ）

右ハ収納（ルウエニウ）高ト賦課（ミヤルヂ）ノ目トヲ別記スヘク供シタルニ行ノ間ニ記載スヘシ

各證書ノ正写ニハ其本書ニ照シ「キユレ」僧官或ハ「キユレ」ノ執事（デヤルカン）及ヒ主税局長ニテ検印スヘシ

何ノ證書何ノ書付ニテモ書箱ヨリ出サシメントスルニハ受取ヘキ公文ノ類、公文ヲ出スコトヲ許セシ局ノ議事、信証ノ為調印セシ官吏ノ職掌、書箱ヨリ公文ヲ出スヘキ状由、ヲ詳明ニ記シタル受取證書ナカルヘカラス故ニ若シ此公文訟訴ニ関スル時ハ裁判所并ニ代言者ノ名ヲ記サヽルヘカラス

右ノ受取證書并ニ公文ヲ返納スル時ノ返納書ハ證書畧記或ハ證書簿冊ニ登録スヘシ

第八章

審理院（クール）及ヒ裁判所（トリビユーナール）ノ公文館ヲ論ス

第一項　審理院及ヒ裁判所ノ公文館ノ構成共ニ其定例ノ事

一千七百九十年立憲會議(アスサンブレーコンスチチユアン)新タニ裁判所ノ構成ヲ布告一千七百九十年八月十六日ノ法セシ後新置ノ裁判所ヲ開カンカダメ従前ノ裁判所ヲ廃止スルニ付前以テ諸布告ヲ要セリ此新法ハ控訴院(クールクツペル)ノ設置ヲ未タ可トセサルカ故ニ尚府(パアルマン)裁判所ノ公文ヲ其設置ノ地ニ置キ政府之ヲ保護セリ一千七百九十年九月十一日ノ法其他「ビゲリー」「ジヤーテルニー」城主ノ裁判所「ブレオーテ」王公ノ裁判所「井コムテ」領主ノ裁判所「セ子シヤウセ」國王ノ名目ニテ裁判スル裁判所「ベイヤーシユ、シヤーテレ」城内ニテ裁決スル裁判所「ブレジヾヲー」等ノ裁判所ノ公文局ニ収藏ノ諸公文モ亦同ク政府ノ保護ヲ受ケシト雖𪜈一千七百九十年十月十九日ノ法右ノ各裁判所ノ権限ヲ稍全ク行フ「ジストリク」政區ノ一裁判所ノ公文館ニ悉皆右ノ諸公文ヲ引纒タリ

共和第三年ノ憲法各「ジストリク」ノ廃止ヲ公告セシトキ其管内ノ各民事裁判所ハ悉皆一州ノ一裁判所ニ合併シ廃止ノ「ジストリク」管内ノ各裁判所書記局ニ存在ノ簿冊及ヒ書付ハ一切新置ノ裁判所ノ書記局ニ引纒ヘキヿヲ命令シタリ第四年葡萄月十九日ノ法

右改革ノ際公文調査ノ名義ニテ諸類ノ公文一切第二年芽月七日ノ法ヲ探索セリ蓋シ其旨意ハ政府ノ権理ニ交渉スヘキ公文一切ヲ摘集スルニ在リ右ノ事務ニ付キ或ハ地理或ハ政務或ハ裁判ニ関セシ公文ヲ収藏スル所各公立記録所ハ即チ國属ノ公文館ノ基本ナル者ト思考ス

ヘク又便宜ニ遣テハ其監察ヲ地方官吏ニ代理セシムヘ
シ然レ𪜈右諸類ノ公文ハ其既假リニ右ノ記録所ニ保存
シ置クヘク且又裁判所ノ書記局ニ存在シテ裁判ニ関係
セシ公文ハ別段ニ之ヲ収藏スル迄假リニ書記ニ委托シ
置クヘシ
亦タ幾何ナラスシテ此類ノ公文ヲ保存スルニハ公立ノ
記録所ニ一切之ヲ合併スルヿノ要ヲ知リ而シテ第五年
霧月五日ノ法共和政府ニ属スル所ノ公文ヲ各州府ニ集
メテ而シテ假リニ國立ノ館（エヂフサスナシヨノオ）社ニ之ヲ收メ置クヘキヿヲ
行政官吏ニ布令セリ
其後ハ前文ニ「假リ」ト記載シタル事ヲ規定完全スル為ニ
制條ヲ設ケシヿ更ニナシ
然リト雖モ行法官ト司法官ノ別アルニヨリテ公文館モ
亦二箇所ヲ設ケタリ即チ州廳ノ公文館、裁判所ノ書記局
是ナリ州廳ノ公文館ニハ從前行政官署ヨリ出セシ公文、
裁判所ノ書記局ニハ從前ノ裁判所ヨリ出セシ公文ヲ収
藏セリ州長ハ其ノ在職前州務廳ニテ取扱ヒシ事務ヲ履
行スルカ故ニ州廳ノ公文館ニ行政理計及ヒ田地ニ関渉
シタル舊公文ヲ引纒ムヘシ各郡ニ新置ノ下等裁判所ハ
其書記局ニ是迄「ジストリクト」ノ裁判所ノ書記局ニ収藏ノ
公文ヲ引纒メタリ尤モ右引纒ニ付テノ布令モアリト雖
モ悉皆之ヲ州ノ民事裁判所書記局ニ引纒タルニハ非ラ
ス終ニ從前ノ府（パルマン）裁判所管内ノ首地ニ控訴院ノ設置ニ因
リ府裁判所書記局ノ公文ヲ容易ク右ノ院ニ集メ其管守
ヲ書記ニ委託シタリ
裁判上ノ公文ハ從前ノ通リ尚州治ノ權限ヲ定限スル法

律ニテ公文ヲ備ヘ置クニ付テノ資本ヲ保証セサル迄ハ収蔵セシ州廳ノ公文ノ如ク取扱ヒ置クヘシ益シ常務ニ付テ緊要ナル書ノミニ注意セシ者ト見ユ書記ハ公文公冩ヲ交付スルニ付其附役ヲ登庸シ又此附役ハ更ニ公冩ノ職掌ナキカ故ニ公文分類ノ事務ニ不足スル程迄ニ附役ノ人員ヲ減省セリ

州會ノ多クハ右事務ニ付不都合アル所ヲ會得シ而シテ之ヲ改正センカタメ別段ニ發言シテ従前ノ審理裁判所ノ公文ヲ整頓スル方法ヲ議定セリ

第二項 公文ノ捜索交付并ニ公冩

公文館ニ収蔵ノ公文ノ交付及ヒ公冩ニ付キ書記ノ職掌并ニ其給料ハ共和第七年風月二十一日ノ法ニ因リテ規定セリ

民法及ヒ商法裁判所ノ裁判不服ノ控訴ニ付確定裁判決濟書ノ公冩ハ原被雙方出庭ノ上ノ裁判或ハ一方不參ニテノ裁判ヲ論セス二枚ニツキ二「フランク」ノ價ヲ拂フヘシ

第七條

原被雙方出庭ノ上ノ裁判或ハ一方不參ニテノ裁判ヲ問ハス又終審初審ヲ論セス民法裁判所ノ裁判決濟書ノ公冩判訟人（訴訟判断ノ爲ニ原被両造ヨリ或ハ裁判所ヨリ被撰擇タル人）ノ断案公冩、治案裁判所ノ裁判不服ノ控訴ニ付判決ノ断案公冩、裁判濟ノ賣貸ノ約條書ノ公冩ハ二枚ニツキ一「フランク」二十五「サンチーム」ノ價ヲ拂フヘシ

第八條

證據裁判預審裁判、口書糺、及ヒ糺問書、訊對、公證人ノ報告書、評議書、親族ノ申立書、身代明細書、書付、簿冊、控訴裁判所ノ拒裁或ハ選裁ノ書、確定申立ノ書、會社除名ノ申立書、或

ハ相続断リ書、且又凡ソ第八條ニ掲ケサル者ニシテ書記局ニ於テ書載或ハ書記局ニ収藏ノ証書、商法裁判所ノ裁判書類ノ全部ノ公冩ハ二枚ニツキ一「フランク」ノ價ヲ拂フヘシ〔第九條〕

書記ハ本年出来ノ証書及ヒ裁判申渡書或ハ其取扱ヒシ公冩ノ本書ノ捜見ニ付テハ公文捜見税ヲ求ムルヲ得ス然リト虽モ公冩ニ非ラサレハ書記兼テ指令アル一ケ年丈ケハ五十「サンチーム」ノ捜見税ヲ拂ハシムル権ヲ有ス又数年ノ指令アル場合且又公文ヲ捜見スル場合ニ於テハ初年ノニ五十「サンチーム」其他ノ年ニハ二十五「サンチーム」ノ捜見税ヲ出サシムルヲ得ヘシ〔第十四條〕

書記ニハ公冩二枚ゴトニ三十「サンチーム」ノ手数料ヲ付与ス

又公冩二枚ニ付一定ノ収税金額中各一「フランク」毎ニ其十分一ヲ付与ス〔第十九條〕

政府ノ官吏其名目ニテ權利ヲ保ツタメニ請ヘル諸公冩ニ付テハ書記ニ前條ニ記載ノ手数料三十「サンチーム」ノ十分ノ二ヲ付与ス書記ハ右公冩ニ付キ前以テ一々之ヲ受取ルニハアラス故ニ此公冩ノ枚数ヲ書類受取人名簿ニ記シ而シテ別段其總計ヲナス〔第二十條〕

書記及ヒ其代人ハ書記局ニ於テ他ノ税ヲ請求シ又之ヲ受取ルヿヲ禁ス又至急ノ公冩ニ付テモ税ヲ求メ或ハ之ヲ収受スルヿヲ禁ス但シ此ノ禁ヲ犯ス者ハ贖罪金一百「フランク」并ニ免職ノ罰ヲ申シ渡サル、ヘシ〔第二十三條〕

共和第七年風月二十一日ノ法第十四條ハ書記ニ其公冩スヘキ證書類及ヒ裁判申渡書ノ捜見ニ付税ヲ受納スル

コトヲ禁セシ所ノ法ニシテ又書記ニ公冩税、公文搜見税ノ内其意ニ任セ一ヲ撰ムノ權ヲ付与セス

第九章

王國公文ヲ論ス

王國公文舘ハ一千七百九十年ヨリ一千八百年マテ立法(コールレヂス)會議ニ附屬セシ尓来一等コンシユルノ所轄ニ歸シ又帝國以後ハ内務省ノ管轄ニ屬セリ

一千七百九十年九月十二日ノ法ニテ国屬公文舘ヲ設置セリ此法ノ文意ニヨレハ右ノ公文舘ニハ只當時ノ王國制度内國ノ公法諸法律及ヒ州ノ新置ニ關係セシ諸公文ヲ有スル而シテコレヲ言ヘハ即チ立憲會議ノ諸公文ノミヲ貯有スルモノナリ

共和第二年霧月十二日ノ勅令ニテ摂政院(千八百五十八年二月一日ノ勅令ニテ帝王ノ側ニ此院ヲ設ケ最近ノ皇族ニ名ヲ右議員ニ加ヘ補佐ノ院トセシモノナリ)理計院特命委員ノ會議及ヒ「ロレヌノ議會」ノ諸文書、宮内省(メイソンヂユロー)ノ文書ヲ國屬公文舘ノ二部ニ合併スヘキコトヲ決定シ以テ國立公文舘ヲ益々廣大ナラシメタリ但シ其一ハ田地及ヒ政務ノ部一ハ央記及ヒ裁判ノ部是ナリ

諸公立ノ記録庫ハ是迄其總轄所ニ屬セシ如ク以後ハ国屬公文舘ノ管轄ニ歸スヘキヲ掲ケタル共和第二年穫月七日ノ法ニヨリテ各大公文舘ノ立組始テ完全セリ尓来各年ニ於テ納章文庫(トレツールデシャルト)、僧及ヒ諸族ノ家ヨリ出セシ證書、諸省、及ヒ官署ヨリ送付ノ文書ヲ以テ國屬公文舘ノ書類ヲ增加スルニ至レリ蓋シ此國屬ノ公文ハ嘗テ分ツテ「ル、パレー、デ、チユイレリー」「ローウル」「ル、パレーブウルボン」及ヒ「パレー、ド、ジユスチース」(以上宮殿ノ名)ニ藏メアリシモノナリ共

後一千八百〇八年三月六日ノ命令ニヨツテ此國属公文
ノ貯藏所ト定メシ「スウヒーズ」館ニ悉皆之ヲ聚収ス此館
ハ近年益廣大ニ修理セリ其建築費六年ニシテ一百二十
万「フランク」ノ高ニ至レリ
共和第二年葡月七日ノ法ヲ設クルノ本思意ハ一千八百
〇八年ノ勅令第七條ニ基クモノナリ蓋シ此條ニハ波黎
ニ存在ノ諸公文ハ國属ノ公文ニ合併スヘキヲ掲ケタル
モノナリ
多年国属公文館設立ニ付キ代議院ニ於テ其歳費或ハ臨時
費ノ見積ヲ議定スル時ニ発論ノ議事中ニモ右同様ノ主
意ヲ発論セリ
一千八百三十八年四月廿八日國碑(モニユマン)ノ築造ニ付テノ奏議、
一千八百三十八年五月十四日ノ集會ニ於テ王國公文館
内吏ニ家屋ヲ新築スル爲百万「フランク」ノ発言ニ付テノ
評議、一千八百四十四年四月二十八日此新造ノ費用ヲ償
フ爲ニ不得止公債ノ見積ニ関セシ奏議、一千八百四十五
年二月五日公債ニ付テノ評議書都テ此公文書類ニハ各
大公文館ニ支給ノ費額ヲ此館ヨリ引挙クル爲政府ニテ
左ノ各種ノ公文庫ヲ國属ノ公文館ニ合併管轄スルコヲ
専務トスヘキ思意ヲ表示セリ即チ先ツ一千七百九十四
年以来サアントシヤペールニ設立ノ裁判書類ノ文庫、次
ニ又帝国政府ノスウセクレテールデタア局ノ公文庫及
ヒルウブルニ設置ノ「コンセーユデタア」ノ公文庫是レナ
リ且又諸省ノ公文収藏ノ方法従前ヨリ屢々改正ヲ加ヘ
最モ修整シ且最モ規律ヲ立ンコノ意ヲ右ノ書中ニ表セ
リ

王國公文館ハ實ニ秖國内各公文館ノ本館恰モ本店ニシテ其構成一千八百四十六年一月五日王ノ勅命ニヨリ更ニ規律ヲ立タリ此勅命ニテ王國公文ヲ三部ニ分チ即チ歴史ノ部政務ノ部裁判ノ部ト區別セリ又其官員ヲ定メタリ大官守（カルトゼナラール）一人課長（セーフデセクション）三人公文監事十二人書記兼會計一人館掌（コンミイストルトル）（館掌トハ往復ノ文書ヲ取扱フ所ノ使部）一人大官守ハ内務卿ヨリ奏請ノ上國王之ヲ仕ス但シ大官守ハ公文館設立ノ地ニ住シ許允ヲ得サレハ私ニ旅行スルヲ得ス課長及ヒ屬吏ハ内務卿直ニ之ヲ仕ス課長及ヒ屬吏ハ波黎大学ノ教師他ノ公文掛并ニ約章驗究所（レコールデーシャルト）（約章驗究所トハ学校ニシテ國屬公文館ニ附屬ノモノナリ古昔ノ政令約章ヲ考究スル學生ヲ育フ学舎ヲ云フ）ニ於テ公文監事ノ免許ヲ得シ舊学生中ヨリ撰抜スヘシ

館掌ノ全半ハ少クトモ三个年在職セシ州及邑ノ公文館監事并ニ貟外（シュルニュメレール）ノ者ニ仕ス但シ一千八百二十九年十一月十一日ノ布令第十條ニ於テ約章驗究所（レコウールテーシャルト）ノ学校学生ノ為ニ規定セシ権理ニ抵觸スルヿナカルヘシ此命令ニ從ヒ「レコウールテーシャルト」ノ学生ヲ邦國公文ノ整頓分類ノ事務ニ管カラシムル為ニ徴スヘシト雖モ是レニ関セスシテ三十以下ノ壮年生ニ右ノ事務ヲ取扱ハシムルヲ得ヘシ蓋此壮年生ハ終ニ州或ハ邑ノ公文監事ノ職ニ充タシムル者ナリ大官守ハ毎年内務卿ニ左ノ書ヲ差出スヘシ

其一 諸公文館ニ於テ効成シタル事務ニ付テノ報告書

其二 國内ノ各官署（即チ秖省寮司局課ヲ云フ）及ヒ政府ヨリ収藏ノ公文摘撮表

其三 課長及ヒ屬吏ノ勤惰ニ付テノ報告書并ニ其進級

ニ関スル奏問

第二 書籍ノ購求及聚集ヲ論ス

一箇ノ公覧書籍館ヲ設立スル時ハ則チ其創造者ノ第一
ニ須ラク注意スヘキ事件ハ尚ホ之ヲ創立スルノ目的及
ビ専ラ主トシテ而メ順便ニセシト欲スル學業ノ利害得
失ヲ必ス詳細ニ理會セサルヲ得サルハ論ヲ待スシテ而
シテ明瞭ナルベシ、廣大ナル國立書館ニハ何等ノ書籍ヲ
モ論セス皆尽ク之ヲ貯藏ス然レ𪜈此種類ノ書籍館ハ更
ニ創立セルヨリ寧ロ漸々ニ成立セシモノナリ、一國ノ中
ニ冠タル書籍館ハ必ス学術字彙ノ書館タラサルヲ得ス
如何トナレハ一代中ニテ全ク無益ニ属スルモノト虽モ
後代ニ至テ最モ貴重ノ財宝ト為ルカ故ナリ、已ニ千五百
年代ノ終リニ於テ一ノボツトレー（ノ名）書籍館ニ於テハ或ル

書籍館ノ掌管者ハ誰ニ限ラス他人ニ授與セシト欲スルヲ嫌フヘキ書籍ヲ以テ塵芥ト名付ルト雖モ千八百年代ニ及テハ他ノ「ボツトレー」ノ掌管者ハ殆ント其書ノ秤量ニ比較ス可キ金貨ヲ以テセサレハ之ヲ購求スル能ハサルニ至レリ如何トナレハ当時ニ及シテハ極メテ曖昧ノ小本或ハ最モ浮虚ノ小説モ歴史ノ深意アル事実ヲ辨明ニスルヲ得又ハ或ル人ノ行為ニ依テ一ノ時代ニ其真ノ踪跡ヲ遺セシ奥妙ヲ鉤探スルノ鈌鍵ト為ルヲ得ヘシトノ道理ヲ明瞭ニ知ルニ至リシカ故ナリ

然レ𪜈此等ノ大館ノ外ニ許多ノ書籍館ハ更ニ其目的ヲ狭少ニシ又其種類ヲ分別シテ以テ設立セラレシコヲ要ス而メ此等ノ中ニ或ハ専門ノ書籍館アリ即チ律法、神教、醫術等ノモノ是ナリ此種類ノ書籍館ノ衆多ナルコハ何レノ國ニ於テモ恐クハ我國ニ及フ可カラス且ツ何所ヲ論セス新館ノ創立ヲ要スル場所ニハ之レカ為メニ使用ス可キ諸物ハ皆預テ備ヘラレタリ從來合衆國ニ於テ最モ鈌乏シタル公覧州郡、都府、等ノ書籍館ヲ卓絶セル先見ト熟慮トヲ以テ創立スルノ勤労ハ頗ル困難ノコトナルヘシ」ミストル、エワルト書籍館ノ條例ニ拠テ近來施行セラレタル所置ハ即チ現今天下ノ民心ハ果シテ実効ヲ奏ス可キ方法ヲ以テ右ノ鈌典ヲ補フノ緊要ナルコニ注意ス可キヲ皷動スルノ證拠ナリ」此種類ノ書籍館ヲ設立スルキハ則チ余謂ラク之ヲ振興スル者ハ先ツ之ニ能ク准備セラル可キ文学ノ特種又ハ諸種ヲ確定スルコ宜シカル可シ然レ𪜈此等ノ種類ノ擇撰ハ勿論各個ノ場合或ハ各異ノ地位ニ於テ各相ヒ異ナル事情ニ関係セサルヲ得

サルナリ最モ此等ノ事情ハ如何ナルモノニモセヨ假令少クトモ一ノ緊要ナル種類ヲ撰擇シテ而メ其館ニ成ル可キ丈ケ至急ニ一ノ順序ヲ立テ、以テ其書籍ヲ聚集ス可シ」近来設立セラレタル都府ノ書籍ヲ購求スル為メニ供ヘタル至多ノ財本ハ六千磅ニ過キス假令此金額ニ倍スル財本ハ英國ノ書籍ノミヲ購求スルニ限ルト雖モ都テ諸般ノ主意ニ就テ実ニ貴重ス可キ書籍館ヲ創立スルニ於テハ全ク不足ナル可シ然レトモ六千磅以下ノ財本ハ若シ其額ノ多分ヲ以テ假令ハ不列顛ノ歴史ノ如キ書籍ヲ購求スルノ目的ニ備ヘ而メ其餘ノ金額ヲ以テ一般ノ利益ヲ謀ルヨリ他ノ主意ニ就キ最モ欠ク可カラサルノ書籍ヲ購求スル為メニ供フルトキハ則チ一箇ノ書籍館ヲ設立スルヲ得ヘシ但シ此館ハ其創業ヨリ唯学生ヲ扶助シ并ニ人智ヲ開明シテ以テ学者ト為スノ趣向ニ至ルヘシ」此類ノ書籍館ヲ創立スルトキ最モ宜シク注意ス可キ他ノ欵條ハ乃チ之ヲ設クル所ノ都府及ヒ其國ノ歴史ヲ註解セシ書籍ヲ聚集スルニ在ルナリ」ジヨンシ、バール氏曰ク英吉利ノ各郡ニ於テ貴重ナル書籍ヲ保存シ而メ善良ノ学問ヲ昇進スル為メニ少クトモ一ノ書籍館ヲ設立ス可シト之レ即チ氏ノ至誠ナル素志ニシテ而メ斯ノ如ク言出セシカ其後遂ニ許多ノ時代ヲ経過シタリ若シ氏ノ時代ニ於テ其願望ノ如ク成功ヲ得タリシナラハ則チ寺院ノ書籍館ニ在ル貴重ナル實物ノ多分ハ必ス滅亡ヲ免カレ而メ地方ノ風土記ヲ作ル為メ頗ル貴キ書類モ亦其滅絶ヲ受ケサリシナル可シ」都府ノ書籍館ニ於テ購求シ得ラル可キ各種ノ書類ハ全ク将来ノ史家ノ為メニ貯蓄セラル

ヘシ即チ其地ノ政治及ヒ總テノ事跡又ハ其地ノ著名ナル豪傑又ハ其地ノ事情等ニ関係スル書籍并ニ此等ノ事件ニ干渉スル議論ハ咸ナ捜求シテ而シテ保存ス可シ且ツ何時ニテモ公立私立ヲ論セス他ノ書籍館ニ於テ此種類ノ刷行セサル書類アルヲ見聞スル時ハ則チ之ヲ抄録ス可シ故ニ都府ノ書籍館ハ都府ノ歴史ヲ捜索スル總テノ人ノ為メニ牙営ト為ルヲ得可シ

若シ書籍ヲ購求ス可キ資本ノ多キ片ハ最初ニ名士傳ノ書冊及ヒ書目ノ書冊ヲ聚集スルヿハ経済ノ上策ナル可シ己ニ今ヲ距ル二百年前ニガブリル、ノージハ博学ノ士ニシテ而シテ此所置ノ利益アルヿヲ著述セリ、且ツ其意見ニ曰ク此方法ヲ以テスレハ人亦懇切ナル行為ヲ做シ而シテ其心ヲ楽シマシム可シ、若シ又人ノ捜求スル處ノ書籍ヲ準備スル能ハサレハ則チ其貯有スル場所ヲ指示スルヲ得ヘシト云ヘルヿハ今尚ホ世ニ行ハル、ナリ、又往々捜求ス可キ重ナル書籍ノ表ヲ作リ刊行シテ以テ四方ノ書賈ニ之ヲ廻達スルハ乃チ真ノ経済ナルヘシ而メ此表ハ假書目ノ如クニ一時ノ間使用ス可キモノトシテ造ラル可シ

原文ノ著述家ノ最モ良キ出版ヲ捜索スル時ハ則チ其批評者、註解者及ヒ論駁者ノ書ヲ必ス求ム可シ、此種類ノ書冊ハ往々其穿鑿ヲ為スニ極メテ須要シキモノナリ然レ圧此等ノ書冊ハ若シ其趣意ヲ解明セシニ非ストモ少クモ其時代ノ事件ヲ明亮ニセシヲ以テノ故ニ貴重スヘキモノナリ

サクスプエール名書ヲ註解セル者ハ其原文ヲ解明スルヿ

極メテ僅少ナリト雖モ亦時トシテハ風俗史或ハ論説ノ高尚セシヿニ必要ノ註解ヲ付スルヿ有ル可シ、一部ノ書冊ヲ分ツテ以テ上梓シ又ハ之ヲ合シテ而メ上梓セシモノアリ即チ「バイボリヲスカ、バトルム」又ハ「ペルム、エングリカルム、スクリプトルス」ノ如キ書籍ハ右ノ如ク二様ニ上梓セシモノ、中孰レカ其一ヲ購求ス可シ或ハ若シ其分ツタル上本ハ殊ニ注意ス可キノ箇條アル時ハ則チ両版共ニ購求ス可キヤ否ヤノ疑問ハ廣大ノ書籍館ニ於テ書籍ヲ聚集スルノ權限ニ在ルナリ○創立セント欲スル書籍館ニ於テ主トシテ聚集スヘキ總テノ書籍并ニ諸種ノ最良ナル学術字林、字典及辞書ハ其創業ノ時乃チ之ヲ購求ス可シト一般ニ忠告シテ而シテ可ナリ、又高貴ナル学者ノ所置及ヒ緊要ナル定時新報ヲ集メタル書籍モ亦之ヲ最初ニ求ム可シ而メ此類ノ書冊ハ書籍館ノ真成ノ基礎ヲ創製シ且ツ其館ヲ尓後盛大ニスルノ補助ト為ルヘシ若シ当時(初)ニ此等ノ書類ヲ備フルヲ怠ル時ハ則チ後日ニ至テ之ヲ求メント欲スルヿ通常ニ稀ナル処ナリ

國立書籍館ニ於テ小冊子及其他文学ノ所遇目録ヲ聚集スルニ尽力スルヿハ讃美シテ可ナル可シ而シテ若シ州郡ノ書籍館ニ於テモ亦其行ハル、処ノ文字ハ乃チ歴史ノ類ヲ集ルトキ國立書籍館ノ掌管者ハ往古ノ文章ヲ好ンシテ以テ之ヲ書架ニ収ルノ遑アラス益シ斯ノ如ク之ヲ珍藏スル所以ハ之ヲ他ニ需ルトモ得ルヿ難キノ原因ヨリ由テ生スル処ナリ

第二 合法ノ強奪ニ依テ書籍ノ聚集ヲ論ス

法律ニ依テ公覧書籍ニ貯藏シタル書籍ノ拵本ヲ強テ褫

奪スルヿハ往昔ヨリ行ハレシモノニシテ而シテ又世上一般ニ行ハル、処ナリ、夫レ此強奪ハ最モ自由ナル国又ハ専制ノ国ニ於テモ施行セラル然レ𪜈自由ノ国ニ於テ以前ハ全ク行ハレタレ𪜈現今ハ通常ニ啻ニ其餘風ノミ存セリ而シテ専制ノ国ニ於テハ今盛ニ行ハル、ヿト思ハル、何レノ國ニ於テモ此強奪ハ上木検稿官ノ職分ニ付與セラレタリ○法朗西ニ於テ独リ巴勒ノ「イムプヱリヤル」書籍館ハ其國中ニ上梓シタル各書籍ノ抄本ヲ強取スルノ権アリ○比利時及尼達蘭ニ於テ抄本ノ貯蔵ハ常ニ強テ之ヲ為スニ非レ𪜈開版免許ヲ得ル者ヨリ必ス其抄本ヲ蔵メサルヲ得サルノ風習アリ○撒地尼ニ於テ栘霊府ノ大学校ノ書籍館ハ其国内ニ於テ上木シタル各書籍ノ抄本ヲ強取スルノ権アリ○朱沙加尼ニ於テ各公覧書籍館ハ

其都府ノ境内及ヒ其館ノ設立セル州内ニ上梓シタル各書籍ノ抄本ヲ強取スルノ権アリ○細々里ノ法律ニ拠ル時ハ則チパレルモニ於ケル大学校書籍館ハ其府ニ於テ上木シタル各書籍ノ抄本ヲ強取スルノ権アリ又那不勒ノ法律ニ拠レハ其首府ニ上木セシ各書籍ハ其抄本四冊ヲ左ノ場所ヘ配分セサルヲ得ス即チ二冊ハフロボニカ一冊ハブランカシアナ又一冊ハ大学校ノ書籍館ヘ蔵ム可シ○羅馬ニ於テ刷印匠ハ五冊ノ抄本ヲ神殿ノ首長ニ送致ス可キノ命ヲ受タリ而シテ此首長ハ其一冊ヲ神殿ニ留置キ又其一冊ヲ副長ニ又一冊ヲヘチカンノ書籍館ニ又一冊ヲ其他二箇ノ書籍館ノ中孰レカニ交付シ而シテ残リノ一冊ヲ其著述者ニ附與スルナリ而シテ羅馬法王ノ所轄スル国ノ他ノ地方ニ於テ右ノ方法ハ各相ヒ異ニシテ

而メ抄本ヲ強テ褫奪スルノ権モ殆ント行レサルヿト見ヘタリ

西班牙ノ法律ニ拠レハ則チ馬徳里ニ於ケル國立書籍館ハ全國及ヒ各州郡内書籍館ノ書冊ノ抄本ヲ強取スルノ権アリ○葡萄牙ニ於テ里斯本ノ國立書籍館及ヒ痾波多ノ都府書籍館ハ其国内ニテ上木セシ各書籍ノ抄本ヲ強取スルノ権ヲ有セリ又日耳曼ニ於テハ其法多少相異ナル処アリト雖圧葡萄牙ニ稍相ヒ似タリ孛尼克ニ於ケル「ロヤール」書籍館ハ巴威理亜ニ於テ上木セシ各書籍ノ抄本ニ部宛ヲ強テ褫奪スルノ権アリ又漢那華ノ「ロヤール」書籍館及ヒゴッチンゲンニ於ケル大学校ノ書籍館ハ漢那華ノ王国内ニ上木セル各書籍ノ抄本ヲ強取スルノ権ヲ有セリ、ハンスタウンスニ於テ漢堡及ヒ盧卑略ノ二箇所ノ書籍館ノ掌管者ハ右仝様ノ殊異ヲ受タリ然レ圧北閔ノ書籍館ノ掌管者ハ此時許ヲ受ケ得ル能ハス又埃塞連摩斯達ノ法律ニ拠レハ二箇ノ書籍館又埃塞連摩斯達ノ法律ニ拠レハ三箇ノ書籍館ハ「エレクトル」ノ領地并ニ「ジユク」ノ領地ニ於テ上木セシ総テノ書籍ノ抄本ヲ強テ褫奪スルノ特権アリ又依加多羅留黒亜ニ於テ布尓多ノ書籍館上木ノ免許ヲ得ル書籍ノ三ノ抄本ヲ強取スルノ特権ヲ有スルヿト見ヘタリ○普魯士ニ於テ伯霊ノ「ロヤール」書籍館ハ其王國内ニ上木セシ各書籍ノ抄本ヲ強取スルノ権アリ然ルニ大学校書籍館ハ其州内ニ於テ耳右ノ権ヲ有セリ

薩索尼ニ於テハ即以上ニ掲載シタル總テノ習慣ト異ニシテ而シテ各書籍ノ上木者ハ開版スル毎ニ其抄本一部

ヲ書籍懸ニ呈上セサル可カラス而ソ此官員ハ其書ノ種類ニ従ヒ徳勒斯達ノ「ロヤール」書籍館及ヒ「リプシス」ノ大学校書籍館ニ之ヲ配分スルヿ其職掌ナリ○瑞士ニ於テハ伯内尼ノ書籍館ノミ此強取ノ殊異ヲ有セリ○ベルンニ於テハ已ニ一千八百三十年ニ右ノ殊典ヲ廃止セリ又ズリッチニ於テ上木者ハ其抄本ヲ差出スノ習慣ナリ然レ𪜈縦令之ヲ差出サヽルモ亦其意ニ任シタレハ決シテ強取セラルヽヿナシ○嗹馬ノ法律ニ拠レハ哥本哈仁ノ「ロヤール」書籍館ハ其領國ノ内ニ上梓セシ總テノ書籍ノ抄本二部宛ヲ強取スルノ権アリ又瑞典ニ於テ士篤恒阿不沙尓及ヒ呂安多ノ三大書籍館ハ各々瑞典ニ於テ上梓シタル各書籍ノ抄本一部宛ヲ強取スルノ権アリ但シ此権ハ諾威ニ波及セラル可カラス○魯西亜ニ於テ聖彼得堡ノ「イムペリヤル」書籍館ハ其帝國中ニ上梓セシ各書籍ノ抄本二部宛ヲ強取スルノ権ヲ有セリ亜米利加合衆國ノ議事院ニ於テ一千七百九十年第五月三十一日ニ議定サレタル條例ニ拠レハ則チ開版ノ准允ヲ得タル各書籍ノ抄本一冊ハ華盛頓ノ大政府ニ必ス之ヲ藏貯ス可シ、此貯藏所ニ修置セル書籍ハ多少ノ規則アッテ以テ公覧ヲ許セリ現今茲ニ貯藏セル其書籍ノ数ハ大約一万巻ナリト云フ而ソ年々平均ノ増加ハ凡ソ四百巻ナル可シト目算セラルヽナリ

英吉利ニ於テ一千六百九年ニ「トーマス、ボットレー」氏ハ文具商社中ト一ノ約定ヲ取極タル其欵ニ曰ク尓後其社中ニ於テ上木スル各書籍ハ其抄本一部宛ヲ以テ「ボットリアン」ノ書籍館ニ送致ス可シト蓋シ此締約ハ其后内乱

ノ生スル迄ハ正実ニ履行セラレシヿト見ヘタリ、「ボツトレ
ー」氏ノ時代ノ以前ニ書籍ノ抄本ハ上木ヲ准許セシ其人
ニ典ヘンカ為メ之ヲ強取シタリ然レ𪜈巴力門ニ於テ初
テノ議定ニ上木者ハ書籍館ヘ其抄本ヲ必ス献納ス可シ
トノ欵條ハ査理第二ノ即位第十四年ノ決議第三十三篇
「セジション」條例ノ中ニ在リ而メ書籍ノ抄本三部ハ文具
商會館ニ之ヲ差出シ其一部ヲ國王ノ書籍館ヘ藏メ其他
二部ヲ二大学校ニ藏ム可シト、女王安ノ即位第八年ノ有
名ナル上木准允ノ條例ニ拠レハ則チ強テ褫奪シタル抄
本ハ其数加増シテ九部ニ至レリ、若尓日第三ノ即位第四
十一年ノ決議第一百零七篇ニ拠レハ愛蘭ノ合併以後ニ
議定セルモノ其數ヲ加増セシヿ十一部ナリ此條例ハ一
千八百三十五年迄施行セラレタリ、其十一部ノ抄本ヲ分
配セシヿ左ノ如シ、第一、英國ノ博物館「ロヤール」書籍館
第二、堪比日ノ大学校書籍館 第三、阿斯佛ノ「ボツトリ
アン」書籍 第四、以丁堡ノ大学校書籍館 第五「グラスゴー」
ノ大学校書籍館 第六「エブルジーン」ノ「キングス、コルレッ
ジ」書籍館 第七「ストエンドレウス」ノ大学校書籍館 第
八倫敦ノ「ジョンコルレッジ」書籍館 第九、以丁堡ノ「アトボ
ケート」書籍館 第十、「ドブリン」ノ「ソルチー、コルレッジ」
ノ書籍館 第十一、「ドブリン」ノ「キングス、インス」書籍館ナ
リ」
維廉第四ノ即位第五年及六年ノ條例第一百十篇ニ拠レ
ハ則チ右ニ記載セシ十一館ノ中六館ハ抄本ヲ得ルノ殊
典ヲ廢止サレタリ而メ左ノ如ク年〻資給配分セラレタ
ル三千零二十八磅ノ金額ハ公債消却積金ニ付セラレタリ」

以丁堡ノ大学校書籍館ハ五百七十五磅
グラスゴーノ大学校書籍館ハ七百零七磅
ストエンドレウスノ大学校書籍館ハ六百三十磅
エブルジーンキングスコルレッジノ書籍館ハ三百二十磅
ロンドンノ「ジヨンコルレッジ」ノ書籍館ハ三百六十三磅
ドーブリンノ「キングスインス」書籍館ハ四百三十三磅

右ノ資給金ハ各書籍館ニ於テ此條例ノ議定アリシ以前数年ノ間平均ノ割合ヲ以テ実際ニ収藏シタル書籍ノ年々ノ値價ヲ胸算シテ斯ノ如ク配分サレシナリ故ニ此殊典ハユブルジーンノ書籍館ニ比スレハグラスゴーノ書籍館ニ於テハ其資金倍ヨリモ多キヲ以テ嚴密ニ施行セラレタリ現今ハ右ノ新法ヲ創定セルカ故ニ英国ノ博物館ニ藏ムヘキ各書籍ノ拆本ハ他ニ何等ノ請求アルモ必ス此館ニ献納セサルヲ得ス又其他四部ノ拆本ハ原本上木ノ後十二ヶ月ヲ經サル間ニ請求ヲ受ル時ハ之ヲ献納ス可シ若尓日第三ノ即位第五十四年ノ條例第百五十六篇ニ拠ル

拆本ヲ強テ掠奪スルコトハ現今其制限ヲ踰越セサレモ常ニ上木者ノ十ニ八九并ニ許多ノ著述者ノ心中ニ防害ヲ生スルモノト做リシカ殊ニ著名ニシテ而メ貴重ナル書籍ノ上木免許ヲ得タル著述者又ハ上木者ハ此拆本ノ強奪ヲ目シテ以テ虐政ナリトセリ亦人民ノ説ニ此強奪ハ上木者ニ課セスシテ購求者ニ課シタル租税ナリト云ヘリ此論ハ假令紛々タル議論ヲ以テ往々主張セラレタリト雖モ全ク謬誤ノ説ナリ其真成ノ説ニ曰ク彼ノ租税ハ

公益ヲ妨止スルヨリモ寧ロ極テ之ヲ昇進スルカ如キ書籍ヲ上梓スルノ經費ヲ加増シ而シテ其割合ニ從テ上木者ノ最モ多クノ利潤ヲ得ヘキ買容ヲシテ其書肆ヲ顧囬セシメサラシムルモノナリ」ト、豊富ナル大学校及ヒ繁昌ナル商社ハ文具商社ノ庫藏書籍ノ表ニ文学ヲ保護スル収税トシテ金銀ヲ喜捨スルヨリモ「フロラスアントルクナカ」又ハ「ヒストリー、ヲフ、レイセストリシヤア」又ハ「ビルズ、ヲフ、エフロップア」号ノ商社ヘ却テ許多ノ金銀ヲ喜捨スルナルヘシ」、代價ヲ附與セスシテ而メ抄本ヲ強奪スル總テノ法ハ各強奪ヲ事トスル者書籍ノ褫奪ヲ恣ニシ而メ印書ノ權ハ一ノ權理タルヨリモ寧ロ一ノ准許トシテ之ヲ授與シ而メ唯一時ノ保護ノ如クニ之ヲ看做セシ時代ニ屬スルナリ

是故ニ此事ニ係ル法律ヲ大ニ嫌忌セシハ決シテ意外ノ事ニ非ルナリ、現今ニ至ル迄英國博物館ノ書籍館ハ獨リ此法律ヲ專ラ施行スヘキ准許ヲ得タルモノナリ而メ之ヲ施行セシハ唯数年ニ過キサル耳、一千八百五十四年ニ於テ現ニ収藏セシメタル書籍小冊子等ノ總数ハ一万九千五百七十八巻ナリ此結果ヲ生スルニハ非常ノ細心ヲ以テ事ヲ理シ且ツ多少ノ嚴酷ナル法ヲ用ヒタリ但シ此法律ハ律例書中ニ存在スル間ハ異論ナク嚴密ニ主張サレサルヲ得サルナリ

堪比日（ケンブリッヂ）ニ於テ千八百四十四年ヨリ仝五十年ノ終リ迄七箇年ノ間大学校書籍館ニ於テ収受シタル諸般ノ書籍音樂書類等ノ總数ハ五万二千三百四十八部ニシテ而シテ年々ノ平均數ハ七千四百七十八部ナリ但シ千八百五十

年一歳ノ間ニ収蔵シタル總数ハ七千八百三十部ナリ、又都伯林ニ於テ同ク七箇年ノ間ニ収受シタル書籍ノ總数ハ二万一千二百六十部ニシテ而メ年々ノ平均ノ数ハ三千零三十七部ナリ但シ千八百五十年一歳ノ間ニ収受シタル数ハ三千四百五十四部ナリ、都伯林ニ於テ交収セシ書籍ノ總数ト堪比日ニ於テ交収セシ總数トヲ比較スレハ其差甚タ大ナリ然レ𪜈此二大学校ニ於テハ其管事者ニ上梓シタル各書籍ヲ請求ス可キ命ヲ與ヘ之ヲ倫敦ニ派出シテ以テ其事ヲ管掌セシムトノヿヲ證明シタリ、又両方ヨリ差出ス報告ニハ、其交収セシ書籍ノ巻数ヲ記スニ非ス其種類ノ總数ヲ登録スト云ヘリ

右ニ掲載セシ議定ニ左祖スル其説ヲ辨破セシ異論ノ外爰ニ亦右ノ殊典ヲ有スル書籍館ノ過半ニ依テ之ヲ執行スル方法ニ適用セル一ノ正シキ説アリ即チ左ノ如シ若シ總テ此等ノ法律ハ私曲ニ非ス公正ノモノトシテ施行サレシ時ハ則ナ人民其強奪ノ為メニ假令不直ニシテ且ツ不十分ノモノナリ𪜈多少ノ報償ヲ収受ス可シ其人民ノ一部ハ全國ノ人民ヲ利スル為メニ課税セラルヲ愁歎スルハ尚ホ其條理適當ノヿナルヘシ、又一国人民ノ利益ハ其國ノ官金ヲ以テ其費ヲ消却セサルヲ得サルモ亦真正ノ道理ナル可シ然レ𪜈阿斯佛、堪比日、都伯林ノ三大学校ノ書籍館ハ國立書籍館ニ非サルナリ公立私立ヲ論セス總テノ書籍館ノ中ニテ譬ヒ以丁堡ニ於ケル「ハクュルチー、ヲフ、アドボケート」ノ書籍館及ヒ都伯林ニ於ケル「シルチー、コルレッヂ」ノ書籍館ノ規則ハ寛大ニ設立セラルト雖モ英國博物書籍館ハ獨リ公覧ノ自由ヲ與ヘシモノナリ、

若シ右ノ三大学校ノ書籍館及ヒ「アドボケート」ノ書籍館ハ上木セシ各書籍ヲ強テ交受スル権ヲ恒久ニ所有スル時ハ則チ各上木者ニ償還スル金ハ衆民ニ課シテ以テ相当ニ之ヲ拂却ス可シ又此等ノ書籍館ハ英國博物館ノ規則ト全轍ニシテ而メ其規則ヲ主張ス可シ總テ特許ヲ有スル書籍館ハ皆預テ定メラレタル規則ニ拠テ私曲ナク縦覧ヲ許ス可シ又皆各其交受セル書籍ノ明細表ヲ作リテ必ス之ヲ公告スヘシ斯ノ如クナレハ則チ文学ノ社中ハ従来ニ比シテ必ス善キ上木者ノ轉章ヲ得可キナリ

第三 寄附ニ由テ書籍ノ集聚ヲ論ス

夫レ書籍ヲ愛スル者ハ通常之ヲ他ニ譲リ与フルヲ極メテ好マサルモノト雖圧然レ圧總テ大書籍館ノ中或ハ献納スル者アレ圧亦其多分ハ贈遺ニ由テ以テ得タル書籍ノ数万巻アルヲ見ルナリ、英國ノ博物館ニ於テ現今貯蔵セル五十六万二千巻ノ中其二十二万巻以上ハ或ハ奉献或ハ贈遺ニ由テ以テ得タルナリ蓋シ此書籍ノ員数モ若シ今ヲ距ル四十年前ニ於テ國人ノ或ハ文学ノ藍色縮紐ト名附ルモノ即チ受托者ノ職掌ヲ委任スルニ必要ナル資格ノ人ヲ撰擇ス可キ宏遠ノ意見アリタランニハ必ス尚ホ多ク加増セシナル可シ「セプルクル、モヌーメント、ヲマグレート、ブリタイン」名書ノ著述者「リチヤルド、ゴフ」及ヒ「イル、ユストレーション、ス、ラフ、セクスペヤ」名書ノ著述者フランシス、ドースハ専ラ右ノ受托者ト為ルヘキ大望アリシ人ニシテ而メ尚ホ英國ノ文学ヲ盛大ニ成立シ且ツ其所有セシ書籍館ノ中ニハ殊ニ英國ノ地誌及ヒ歴史ヲ許多貯蔵シタリ然レ圧固ヨリ縉紳家ニモアラス亦タ官吏ニ

ニテモ非サリシナリ、又両氏ハ其書籍館ヲ阿斯佛（ヲックスホルド）ノ大学校ニ贈遺セシコソ卑ヒナリケリ然レ𪜈天下人民ノ為メニ利益ノ有無ニ就テハ一言モ発スル者ナカリシカ此等ノ時代ヲ経テ後ニ受托者タル職分ハ高貴ノ地質学者又ハ有名ノ歴史家ヨリ之ヲ兼務スル𪜈其位ヲ敢テ減セサルコトハ官吏ノ心ニモ又卑ニ明瞭トナリシ而シテ方今受托者ノ名目表ノ中ニハモルチソン、ブツクランド、ハルラム、及マクウライノ諸氏モ丢克及大法官ノ名ト仝様ニ登録セラレテ以テ其栄誉ヲ顕ハセリ

督教主ヒユートハ其書籍「コンソンタリ」ノ中ニ人心ヲ感動ス可キ詞ヲ以テ「プレシデント、ドトヲ」ノ書籍館ヲ全ク売却セシヲ見テ自ラ歎息セシノ語ヲ掲載セリ然レ𪜈其後ニ此書籍館ハ更ニ分売サレシ時ニ又言テ曰ク其一部ハ余カ所有ト為レリ且ツ此例ヲ以テ観レハ則チ余レ若シ自ラ書籍館ヲ保護スルニ鈍ク其備ヲ為サヽレハ恐ラクハ其損害ヲ生セントト感覚スルニ至レリ又此事ヲ久ク注意回想セシニ依ツテ謂ラク書籍館ヲ永久ニ継続セントト欲セハ法教ノ規則ヲ必ス尊奉スル人ヨリ成立セル確実堅固ノ社中ニ之ヲ委任スルヲ以テ上策ナリトセリ」、此督教主ハ久ク熟考セシ後ニ確実堅固ナル總テノ社中ノ中ヨリ「ゼシユイト」ノ一派（耶蘇門徒）ヲ擇テ之ニ委任セシカ尚ホ且ツ其継続ハ一百年ニモ及ハサルナリ假令教主ノ集メタル書籍ノ一部ハ其後ニ法蘭西ノ「イムブヘリヤル」書籍館ニ合併サレシト雖𪜈終ニ断絶シタリ

種々ノ書籍館ハ時トシテ不意ノ事情ニ由リ或ハ鋭敵ノ注意ヲ以テ恰モ世人ノ浮沈スルカ如ク須ラク盛衰アル

ヘシ然レ𪜈此等ノ書籍館ハ既ニ貯藏セシ書籍ヲ能ク保存シ而メ縱覽ヲ許シ公益ヲ謀リ以テ其規則ヲ寛大ニ為ルニ善法ヲ以テセハ之レカ為メニ必然其得ル處ノ裨益モ亦多カランヿ之ヲ掌上ニ視ルカ如シ

然リト雖モ爰ニ緊要ニシテ且ツ數多ナル書籍ノ一種アリ之ヲ所有スルニ意外ノ事情ハ決シテ關係ス可カラサルモノナリ此等ノ書籍ハ即チ國費ヲ以テ上梓セシモノヲ云フナリ然レ𪜈通常此國ニ於テ此等ノ書籍ノ配分ハ極メテ偏頗ノ獘アリ而メ此等ハ諸省及ヒ諸官員ノ管掌スルモノナリ又此等ノ書ヲ此國ニ於テ上梓スルノ入費ハ極メテ過分ナルニモ拘ハラス之ヲ賣却スルノ善法ヲ設立スルヿ稀ナリ若シ之ニ類スル規則アルモ亦之ヲ守ルヿ稀ナリ

斯クノ如ク上梓セシ書籍ノ中ニテ殊ニ書籍館ニ於テ貴重ス可キ書類ハ即チ公文及ヒ歴史假令ハ顚理第八ノ治世ノ「ステート、ペーブルス」及ヒ「モヌーメンタ、ヒストリカ、ブリタニカ」ノ如キノ書類又新地探索航海紀事、博物士ノ報告及ヒ此等ニ屬スル他ノ文学士官ノ報告、天文考說ノ書類又一般ニ合併王國ノ武庫司ノ測量及ヒ地理ノ測量ニ屬スル種々ノ書類等ナリ、此等ノ上水書ノ中ニ或ハ内務卿ノ管掌スルモノアリ或ハ海軍局又ハ武庫司ノ管掌スルモノアリ然レ𪜈此等ノ官署ニ於テ其書ヲ分配スル合法ノ規則ヲ設立セシヿナシ又此等ノ官署ハ往々一ノ書籍館ニ分配シテ而メ其他ニ分配スルヲ嫌フタル偏頗ノ例ヲ爰ニ引證スルヿ甚タ容易ナレ𪜈殆ント不用ニ屬スルヲ以テ掲載セサルナリ

上下ノ議事院ノ報告書類ハ公覧書籍官ノ為メニ亦タ至貴ノモノナリ、下院ノ報告書ヲ分配スルノ主意ヲ以テ千八百五十三年ニ特別ニ命セラレタル議員ハ永遠ニ其館ヲ維持シ且ツ自由ニ縦覧ヲ許ス可キ約定ヲ做シタル都テノ書籍館ニ右ノ書類ヲ配分センコヲ強ク薦メタリ但シ此薦言ハ今ニ至テモ尚ホ施行サレサルヲ渇ス又此言ニ對シテ真正ノ異論ヲ立ツル者ナシ而シテ又之ヲ実際ニ施スノ所置ハ其当ヲ渇ル為メ唯有力ノ人ニノミ之ヲ委任センコヲ要ス

第四　萬國ノ交換ニ依テ書籍ノ聚集ヲ論ス

諸國ニ於テ上木セル文学及ヒ課学ノ書籍ヲ時々寛大ニ交換スルハ其源ヲ尋ルニ決シテ近來ニ至ル迄ハ其法不規則ニシテ而メ邂逅ニ貿易セシナリ而メ英國ハ之ヲ勸

励スルコニ於テ遅緩シタリ○王國ノ租税院ノ長官ハ千八百三十二年ノ大藏省草案ノ中ニ該省ヘ告ケテ曰ク佛王政府ト一ノ規則ヲ決定サルヘキノ意見アリ此規則ニ依テ新規ニ上木セル都テ文学ノ書籍ハ互ニ交換シテ以テ英國ニ於テハ英國博物館ノ書籍館又佛國ニ於テハ「ローイ」ノ書籍館ノ用ニ必ス供セラル可シト云ヘリ然レ圧此意見ハ唯両國ノ立法官ノ書籍館ノ間ニ公文書ノ最モ必要ナル交換ヲ為スノ外施行サレシコナシ「アレキサンドルフエットメール」氏ハ萬國交通シテ書籍ヲ交換スルコニ注意セシハ殆シト此時代ニアリシコト見ユ而メ氏ハ之ニ緊要ナル扶助ヲナシタル證拠尠カラス、千三百五十三年ニ氏ハ紐育克ニ於テ集會シタル書籍館ノ會議ニ一ノ報告ヲ送レリ此中ニ公覧書籍館及ヒ其他書籍交換ノ

法ニ依テ其利益ヲ分有スル書館ノ数一百三十以上ヲ登録セリ且ツ此法ニ於テ五箇年ノ間ニ六万一千部以上ノ書籍及ヒ小冊子ヲ氏ノ管掌ニ依テ合衆國及ヒ歐羅巴ヘ分配セリト登記シタリ其後二年ヲ経テ紐約克州ノ大学校長ハ固属書籍官ノ受托者ノ如ク千八百五十五年ニ其年報ヲ立法官ニ進呈シ「ミストル、フエットメール」氏ノ尽力ニ依テ生シタル結果ノ如キ成績ヲ得シヿヲ強ク薦メタリ

右ノ如ク書籍ヲ交換スルノ法ハ華盛頓ノ「スミツソニアン」博物館ニ於テ其規模ヲ弘大ニシ且ツ迅速ニ増蔵スルノ目的ヲ以テ近来設立セラレタリ、此博物館ヨリ差出セル千八百五十四年即チ第八ノ年報ニ此館ハ現今新世界米国ト旧世界ノ他ノ諸国トノ間ニ文学ノ交通ヲ為ス重ナル管事者ナリト掲載セリ此館ニ於テ書籍交換ノ法ハ該館ノ上木書ノミヲ以テ交易スルヿトス我カ英國ノ学者ハ斯ノ如キ法ヲ貴重スレトモ此種類ノ自由ナル交通ニ依リテ生スル処ノ結果ヲ熟知セサル人ハ其緊要タルヲ推測スル能ハス

第五　公覧書籍館ノ建築及ヒ準備ヲ論ス

斯ノ如キ職掌ヲ以テ仕セラレタル幹事ノ通常ニ須ラク担承セサルヲ得サル第一ノ困難ハ即チ公覧書籍館ヲ設立スル地位及ヒ其形状ニ就テ屢々生スル処ノ争論ヲ勧解スルニ在リ、其公覧書籍館及ヒ就中都府ノ書籍館ハカノ及フ可ク中心ノ地位ヲ要セリ、何等ノ書籍館ヲモ論セス充分ニ維持セラル可キ者ハ原ヨリ存スル形状ヲ止ムヲ得ス改造スヘキノ憂ヲ遺スヿナクシテ而シテ自由ニ

増築セラル可キ形状ヲ以テ之ヲ建築ス可シ、十字形角形或ハ圓形ノ家屋ハ若シ常ニ増築ス可キ空地ヲ預テ所有シ又ハ容易ニ之ヲ求メ得ル時ハ則チ多少加造スルヲ得可シ然レ𪜈一都府ノ中央ニ於テ此ヲナスハ最モ困難ノ事情ナリ、若シ其加築スル地ヲ所有シ又ハ求メ得ル能ハサル𪜈ハ其為メニ備フル処ノ金ヲ以テ寧ロ固有ノ場所ニ於テ使用スルハ往々眞ノ経済トナルヘシ」圓形、又ハ多角形ノ家屋ハ種々ノ形状アル中ニ最モ善ナルモノナリ如何トナレハ元築ヲ漸々無限ニ加造シテ而メ之ヲ充分且ツ永久ニ弁備スルニ最モ便利ナルカ故ナリ而メ地位ノ不便ナル公覧書籍館モ若シ多ノ書籍ヲ貯蔵シテ以テ其規則ヲ寛大ニスル時ハ則チ看客ノ屡々来訪スルヲ妨ケサルヿ必セリ以上ニ論スル外ハ亦充分ノ資本ヲ準備シ而メ永久ニ維持スヘキ書籍館ヲ創立スル𪜈ニ必ス記憶セラルヘキ考案ヲ述ルヿ左ノ如シ

第一　其地位ハ必ス空氣ノ能ク流通シ且ツ乾燥ナルヲ要シ其家作ハ形状ノ如何ヲ論セス他ノ家ニ隔絶セシヿヲ要ス若シ大通衢ノ中ニ設立スル𪜈ハ成ル可キ丈ケ其後面ニ於テ建築ス可シ

第二　家作ハ焼滅セサル物料ヲ以テ造ル可シ故ニ磚石、鉄及ヒ板石ノ外其他ノ材料ハ本築ニ於テ成ル可キ丈ケ使用セサルヲ要ス又其室房ニ使用ス可キ材木ノ地板ハ鋪石又ハ弓形ノ磚ノ上ニ壁泥ヲ以テ塗ル可シ」

第三　地上ノ地板ハ其下ニ穹窓ヲ造ル可シ又外面ノ壁ハ都テ空気ヲ流通スル為メニ闊大ノ孔渠ヲ開ク可シ若シ家築ノ廣大ナル𪜈ハ其地板ニ沿フテ大水管ヲ

通スヘシ
第四、若シ使用スルヲ得レハ則チ宜シク日光ヲ四方ヨリ淂ヘシ然レ圧圓屋背ノ天窓又ハ燈明ノ光ハ成ルヘキ丈ケ之ヲ淂ルノ備ヲ爲スヘシ此等ノ光ハ若干ノ積ヲ占メタル書架ノ壁上ヲ大ニ照明スルニ便ナルモノナリ
第五、書籍ヲ貯藏スル爲メニ定メタル各室ハ其中ニ在ル処ノ書籍ノ大數ヲ一目ニシテ辨別スルカ如クニ排列シテ而メ築造ス可シ又各書架ハ階梯ヲ用ヒスシテ接近ス可キニ作テルヘシ此室ノ各角ニ胸ノ高サニ均シキ欄干ヲ附ケ螺形ノ階級ヲ備ヘ、日光ヲ通ス可キ穴ヲ穿チタル鉄ヲ以テ歩廊ヲ作ル片ハ最モ丈ケ高キ室ニ於テモ大ニ其便利ヲ淂ヘシ假令ハ若シ書籍舘ノ内部ノ高サ三十五ヒート有ル片ハ九ソ七ヒート宛ヲ隔テ、四階ノ歩廊ヲ作レハ無益ノ空所ヲ遺サスシテ各書籍ヲ直チニ接見スルヲ淂ヘシ
第六 讀書室ハ書籍ヲ貯藏スル爲メニ定メタル室ヨリ必ス隔絶シテ設ク可シ然レ圧成ル可キ丈ケ本築ノ中央ニ設置シ而メ其中ニ通常ノ書籍殊ニ書籍舘ノ名士傳ノ什具」ト名付ク可キモノヲ貯藏スル爲メニ架ヲ作ル可シ又之ニ接シテ一小室又ハ二三ノ小室ヲ設ケ校合謄寫或ハ其他之ニ均シキ事業ノ便利ヲ要スル書生ノ爲メニ供ス可シ又讀室ニハ日々使用スル書籍ヲ藏ムル爲メ書冊架ヲ附シタル種々ノ書函ヲ設置スヘシ又此書架ニハイロハヲ以テ番号ヲ附シ而メ其中ニ在ル書籍ハ之ヲ借用スル書生ノ姓名ノ順序ニ従フテ

藏置クヲ得ヘシ此法ハ英國ノ博物館ニ於テ久ク行ハ
レシモノナリ
第七、書籍ヲ貯藏スル室及ヒ讀書生ノ為メニ設タル
室ニ相接シテ而メ作ユ室ヲ充分ニ設立セサル可ラス
廣大ノ書籍館ニ於テハ左ニ掲ル処ノ各室ハ其館ノ事
務ヲ便利ニシ且ツ其整備アランヿヲ要スル為メニ必
ス設置サレサルヲ得サルナリ第一荷物ヲ收受シテ觧
包スル室爰ニハ別ニ入口ヲ附ス可シ第二押印兼記
錄室第三書目ヲ造リ會計ヲ掌ル室第四書籍ヲ綴
ル室、若シ書籍館製本所ノ中ニ於テ此職ヲ為スキハ
勿論此室ヲ其作工場ト交通ス可シ若シ否テサレハ製
本ニ係ハル事務ヲ為ス可キ小室ヲ別段ニ設クヘシ
第五長官ノ室、第六書籍館掌官人ノ室、廣大ノ書籍
館ニ於テハ之ニ一ノ伺候室ヲ加造ス可シ第七書
籍館ノ大小ニ應シテ副掌官人ノ室等モ亦設ク可シ
第八又右ノ廣狹ニ應シテ書記官ノ室、洗衣室等ヲ設
ク可シ○廣大ノ書籍館ニ於テ其書籍ヲ充分ニ清潔ニ
為スノ便ナルカ為ニ前室ヲ設立スルモ亦必ス其益ア
ル可シ狹小ノ書籍館ニ於テモ亦相應ニ其工作室ヲ設
立スルハ恒久ニ眞成ノ經濟タルヲ省淂ス可シ又書籍
館ハ大小ヲ論セス其規則ニ於テ若シ其掌官者又ハ其
他ノ官員ヲ其墻内ニ居住セシムレハ其居室ハ本築ノ傍
テ、設ク可シ
第八一箇ノ書籍館ハ其大小ニ拘ラス相當ニ製造シ
タル火爐又ハ蒸氣管ヲ以テ無難ニ其館ヲ温ムルヲ淂
ヘシト云説ハ方今之ヲ確說ト假定シテ可ナリ若シ火

爐ヲ用ユルトキハ其危難ヲ保険スル為メニ許多ノ方法アリ然レドモ各室ニ通スル蒸気管ヲ用ユル時ハ防火牀板ノ中ニ張タル鉄網ノ渠ノ内ニ此管ヲ置キ而メ書籍ニ接近スルノ距離ハ三ヒートニ過ク可カラス又其他ノ管ハ燈火ノ光及ヒ他ノ廣キ玻璃ノ外面ニ近ク置ク可シ蒸気鑪ヲ設クル室ハ其書籍舘ヲ隔テヽ置ク可シ而メ蒸気ノ流通ハ常ニ間断ナカル可シ

第九　火難ヲ充分ニ保険シタル瓦斯ハ相当ニ築造シタル書籍舘ニ於テ之ヲ便用スルヲ得ヘシト云説ハ経験ヲ以テ證明セシ意見トシテ之ヲ採用スルモ亦可ナリ気燈ノ装置中ニハ燈内ニ於テ燃滅シタル烟ヲ取除ル管モ属スルナリ気燈ノ内管ハ銅ヲ以テ作リ外管ハ不透明ノ玻璃ヲ以テ作ルヘシ而メ此等ノ管ハ項搭ノ上ニ突出シ或壁外ニ曲出セルモノアリ又或ハ気燈ヲ皆悉ク家屋ノ外ニ設クルヲ得ヘシ此方法ハ倫敦ノ大学校及ヒ其他ノ場所ニ於テ最モ能ク行ハルヽヲ着ル可シ

第十　書函ハ通常ノ如ク木ヲ以テ作リ其架或ハ光滑ノ板石ヲ用ヒ而メ其後面ト竪トハ鍍金セシ鉄竿ニ穴ヲ穿チタルモノヲ用ユル有リ其材料ハ何ヲ以テ造ルトモ其架ハ大小不同ノ書籍ヲ自由ニ藏ル為メ常ニ上下ヘ動ク可キ様ニ作ルヘシ又書函ニハ其架ノ近辺ニ突出セル装飾又ハ其両側ニ穴或ハ凹等ヲ附セスシテ而メ其内面ヲ充分平滑ニ造ルヘシ又最下ノ書架ハ其高サ牀板ノ上少クモ六インチノ距離有ル可シ而レテ書函ノ後面ト其後ニ在ル壁トノ間ニモ亦若干ノ距離

アル可シ○書函ハ總テ各其形ヲ同一ノ大サニシテ之ヲ数部ニ分チ若シ事実止ムヲ得サルハ之ヲ他ニ近移シ又ハ交換スルヲ得ル可キニ製造スルモ亦工策ナルヘシ○貴重ノ書籍ヲ藏ムヘキ書架ハ皆都テ柔軟ノ革ヲ以テ蓋フ可シ○表面ヲ斜メニ作リ玻璃ヲ嵌メタル架箱ハ世ニ得難キ珍奇ノ書籍又ハ原書及其他書籍館中ニテ貴重ナル宝物ヲ展スル為メニ備フ可シ

第十一 非常ニ大形ノ書籍ハ之ヲ平放ニシテ藏メ得ヘキ別架ニ貯ル欲又ハ机函ノ中ニ設タル抽斗ニ藏ムルヲ得可シ、廣大ノ書籍館ニ於テハ他ノ机函又ハ机ニ書籍目録ヲ入置ク為メ一列ノ抽斗ヲ准備スヘシ

第十二 讀書室ニハ書籍目録ノ数巻ヲ載スヘキ大サノ檯ヲ備ヘ而メ大小不仝ノ讀書机ヲ相應ニ准備ス可シ、此等ノ机檯ヲ設ケテ以テ讀書生ノ便利ヲ増益スルニ従フテ大形ノ書籍ノ損傷スルヲ防クナリ、読書机及其架ノ最良ナル形状ハ輓近合衆國ニ於テ波士敦ノ「ホルソン」氏ノ発明スル処ニシテ而メ氏ハ之ヲ専賣スルノ特許ヲ得タリ又此形ハ千八百五十四年第六月第一日ノ紐育「リテラリー、ガセツト」新聞紙中ニ其図アルヲ省ルヘシ又此形ノ机ハ上木書籍ヲ入置ク為メ特ニ適当セリ○柔革ヲ以テ手車ノ表面及ヒ横木ヲ包ミ而メ書籍ヲ載スルモノハ書籍館ニ於テ最モ必要ノモノナリ

・第六 書目ヲ造ルノ方法ヲ論ス

一ノ書籍館ヲ能ク管理ス可キニ幾ク夛キ種類ノ中細密ナル書目ヲ保存スルハ乃チ第一ノ欵條ナリ而メ其之ヲ

作ルハ如何ノ方法ヲ以テス可キヤノ疑問ハ最モ重大ノモノト雖𪜈却而其欵條ニ就テ尚ホ僅小ノ疑問ハ紛々タル議論ヲ生シテ以テ其意見各相異ナリ然リ而〆其都テノ争論ヲ壓倒セント欲セシ人々ハ未タ曾テ斯ノ如ク勉励セシヿハアラサリシナリ

公覧書籍館ノ書目ハ通常之ヲイロハ附ニスル歟又ハ分類シテ以テ登録セシ歟其両様ノ方法ハ互ニ得失アルナリ若シイロハ附ノ法ヲ採用スレハ則チ其書目ハ著述者ノ名ヲ以テ号ト為スモノ歟又ハ書籍部類ヲ以テ号ト為ス可キ歟其一ヲ撰フ可シ、若シ著述者ノ名ヲ以テ号ト為ス書目ハ人ノ常ニ使用スルモノニシテ而〆編成シ易キノ功アリ而〆名アル著述者ノ書籍ヲ求ムル都テノ書生ニ極メテ有益ノモノナリ然レ𪜈其書籍館ニ貯蔵セル有名又ハ無名ノ書籍ヲ都テ探索スル書生ニハ殆ント無益ニ属スルナリ何トナレハ即チ曾テ自ラ全ク知レルモノ又ハ畧々知レルモノヲ総テ探索スルヲ得ヘシト雖モイロハノ順序ニ従テ之ヲ捜索スルニ勤労シテ而〆久シク時間ヲ費スニ非レハ之ヲ得ル能ハサルカ故ナリ、廣大ナル書籍館ニ於テ若シ著述者ノ名ヲイロハ一字ノ中ニ無名書籍ノ表題ト錯綜セシ𪜈ハ則チ其時間ヲ費スノ労ハ三倍ナル可シ書籍ノ部類ノ中ニ貴重ノ書籍ニシテ而〆現ニ無名ノ者アリ、國立大書館ニ貯蔵セル書籍ノ過半ハ皆著述ノ名ヲ有セサルモノナリ此等ノ無名書籍ノ中其過半ハ博学ノ書史ノ著作家或ハ著述者ノ姓名ヲ知リ或ハ其ノ著述ナリト推量假定シタル者ノ必ス著述セシモノナル可シ

若シ亦書籍ノ部類ヲ分ツテイロハ附ニシタル表ヲ採用スレハ則チ無名著述ノ書籍ヲ掌理スルニ甚タ容易カル可シ書生モ亦之ヲ一覧シテ以テ緊要ナル書籍ノ大数ヲ知ルヿ必セリ而乄従来曾テ知ラサル書籍アリト雖モ其種類ヲ捜索スルノ妨ナシ然レ𪜈此等ノ利モ亦其害ト相ヒ均シ先ツ斯ノ如キ書籍目録ハ必スシモ書冊ノ真正ノ主意ヲ分ツヨリモ其表題ノ名付方ヲ以テ分類セサルヲ得ス否セサレハ則チ一種ノ書目ニ記載セル其蔵書ヲ皆悉ク一覧シテ以テ省認スル能ハス或ハ一語ノ中ニ種々ノ意味ヲ含有スルモノ有リ故ニ書生ハ書籍ヲ探索スルニ意外ノ事アルヲ以テ大ニ妨ケラル、ナリ或ハ又一箇ノ種類ニ種々ノ異語全義ノ文字ヲ以テ名付クルモノアリ故ニ書生ハ其探索スル処ノ書籍ノ表題ヲ聞知スル以前ニ總テ此等ノ題号ヲ繙譯セサル可カラス

種々ノ時代ニ於テ企テタル分類書目ノ式様ハ其数甚タ多ケレトモ何レノ著述者モ此等ヲ敢テ記載セシ者ナシ然リト雖𪜈左ノ諸氏ニ依テ著セシモノヲ集合セリ即チブエノットハ「ジクショナリト、ゾン、ド、ビブリヲロジ」千八百零二年エチエルドハ「コールス、エレメンタリー、ド、ビブログラヒック」千八百零六年ミストル、ハルトヴエヘル、ホールンハ「ヲウトラインス、ホル、ゼー、クラシヒケーシヨン、ヲフ、エ、ライブラリ」千八百二十五年シルジヨン、ウヰルリヤム、ルボッタハ「レマークス、ヲン、ゼー、クラシヒケーシヨン、ヲフヒユメン、ノヲレージ」千八百三十四年ブルー子ットハ「マニユル、ドー、テヤブラリ、カトリーム、エジシヨン」千八百四十五年イントロダクシヨン」ミストル、アルベルトハ「レセルセ、

シユル、レ、プリンシ、プ、ドラ、クラシフイケーション、ビブログラヒツク、千八百四十七年ヲ著作セリ

ゼスチル氏ノ時代ヨリ現今ニ至ル迄ニ想起シタル總テノ式様ハ之ヲ一種ニ集メ又ハ二種ニ集合スルヲ得ヘシ而メ其十中ノ九ハ他ニ如何ナル利益アリトモ書籍館ノ書目ニ用ユルニハ実ニ不適当ナリ、第一集ニ属スル式様ハ或理論ニ從ヒ人カノ及フ処ノ次序斉整ノ法ヲ設クルヲ以テ目的ト為セリ又第二集ニ属スル式様ハ右ニ比スレハ其説甚タ劣レリ而メ或ル便利ノ法ニ從ヒ専ラ日用ニ供シテ以テ人其知識ヲ得シムルヿヲ目的ト為セリ、第一集ノ式様ヲ著作セル者ハ曽テ性理学者ノ脳髄ヲ困却シタル至難ノ問題ヲ必ス熱心ニ解明セントシ欲セリ然レモ第二集ノ式様ノ著作者ハ若シ書籍ヲ管理スル總テノ人ニ其書冊ヲ賣買シ又ハ之ヲ其架ニ藏メ而メ之ヲ省認スルニ便利ヲ与ヘシト省做サレシモノハ則チ満足スルナリ

「ゼブリル、ノージ」氏ハ恐ラクハ第二集ノ首ニ於テ必ス其地位ヲ占ムルノ道理アリ則チ氏ノ著作セシ式様ノ總体ハ千六百二十七年ニ自ラ印行シタル書籍館設立意見書ノ中ニ登録セリ縦令此式様ハ「ビブローテーキ、コルデシヤナ」名書ノ中ニ始テ表明セラレシト雖モ千六百四十三年マデ世ニ発顕セサリキ、「ノージ」氏ハ諸般ノ書目表式ヲ著作スル者、許多ノ中其開路者タルノ名誉ヲ得ヘキノ聲價アリ又此式様ノ真正ノ著述者ハ書史ノ作者ト至當ニ称セラル可キ人ニシテ「ドードウ」書籍館ノ書目編輯者ナルイスメル、ボイルロード」氏ナリ即チ其編輯セル書目ハ「ハアザ、セニイル」ノ著名ナル「ビブローテーリ、システム、コル

レシ、パリシニシス、ソサイテース、ゼシユ」ノ上梓ノ後一年ヲ経テ千六百七十九年マデ尚ホ上木サレサリシカ其原稿ハ「クエス子ル」氏ノ刊行監督ニ依テ此数年前乃チ之ヲ刷行シタリ○「ボイルロード」氏ハ其先輩ノ區別セシ種類ヲ増補シテ以テ其智ヲ示スヿナク又往古ノ名称ヲ改正シテ以テ其才ヲ表スルヿナシ然レ𪜈更ニ五種数ヲ定メタリ即チ第一ハ神傳、第二ハ法教、第三ハ歴史、第四ハ理学、第五ハ文学ナリ而メ總テノ書冊ヲ區別シテ以テ皆此種類ノ中ニ包括セリ此式様ハ簡易ニシテ而メ之ヲ又増補スルヲ得ルノ益アリ理学ノ一種ヲ除クノ外四種類ハ其限界ノ能ク定マレルモノニシテ總テ是等ハ唯其款條ノ三ヲ改正スレハ則チ一種ノ書籍館ニ於テ之ヲ適用スルヲ得可シ故ニ特ニ書籍館掌管、者ノ三十テスメルチヤントゼブリル、マルチン、デブール、及ブルーチツト、ノ如キ高尚ノ書賈及ヒ書史ノ著述者ノ愛顧ヲモ亦受ク可シト冀望セラレタリ是等ノ諸氏ハ各此式様ノ條件ヲ改正シ而メ又諸氏ノ中十ノ八九ハ理学ノ一種ヲ改革シ課学藝術ノ一種ヲ設立シテ以テ理学ヲ其小部類ト做スヿニ一致セリ而シテ歴史ノ一種モ亦第三ノ順序ヲ改メ通常ハ第五ニ定メタリ然レ𪜈此式様ノ大體ハ変化スルヿナシ而シテ時代ノ経過スルニ従ヒ終ニ他ノ最上無類ノ書目中ニ合併セラレタリ

此國ニ於テ最モ行ハル、モノハ「ミストル、ハルトウエル、ホール」氏ノ増補改正セシ「パリス」法式ナリ即チ氏ハ堪比日ノ「キユエンス、コルレジ」書籍館ノ書目ヲ造リシ時之ヲ改正シ而シテ又「ヲウトライン、ス、ホール、ゼー、クラシヒケー

シヨン、ヲフ、ユ、ラヤブラリ」績書ヲ著述セシ時ニモ亦改正セリ此書ハ一千八百二十五年ニ英國博物館ノ受托者ニ授与セシモノナリ又ホールン氏ノ改正ハ佛蘭西ノ書史著作家ノ改更セシモノニ比スレハ則チ其欵條多ク而メ其中全ク異論ナク有益ノモノアリ、氏ハ彼ノ重ナル五種類ノ中四種ヲ除キ課学藝術ノ一種ヲ分ツテ以テ二種ト做シ第一ハ理学第二ハ藝術職業ト做セリ而メ六種ヲ造ルヿ亦左ノ如シ第一宗教第二法学、第三理学、第四藝術職業、第五歴史、第六文学、ナリ又其小部類ニ於テハ種々更改スル処アリ即チ歴史ノ部類ヨリ法教ノ歴史ヲ除去シテ以テ法教ノ部類ニ之ヲ加入シ又歴史ノ部類ヨリ文字ノ歴史ヲ除去シテ以テ文学ノ部類ニ之ヲ加入セリ、日ニ盛大ニ趣ク政治及ヒ商業ノ学問ハ礼法ノ中ニ之ヲ合併シ而メ脩身学、政治学ノ名称ヲ附シ以テ理学ノ部類ノ一章ト為セリ、余レ思フニ歴史ノ種類中ヨリ法教ノ歴史ヲ除クハ甚タ其当ヲ失スルノ疑團ナキ能ハス何トナレハ寺院ノ歴史ヲ神学ト混合スルニ至ルカ故ナリ縦令ハ「フーレル氏ノ「チヤーチ、ヒストリー、ヲフ、ブリタイン」トウヲルス氏ノ「ヒストリー、ヲフ、インハン、トバプチスム」ノ如シ然リト雖モ若シ此所置ニ就テ一ノ利益アルヲ看破スレハ則チ此改正ハ軍史ヲ軍術ト混乱シ而メ己カ門史ヲ政理学ト混合セサルヲ得ス然レモホールン氏ノ式様ハ其全体ヲ以テ論スレハ恐ラクハ最良ナルモノ、有ル中ノ一ナリ

第七　書籍舘ノ規律及ヒ節倹ノ方法ヲ論ス

公覧書籍舘ノ書籍ハ之ヲ其架ニ藏メサル以前ニ書目表

ニ登記スルノミナラス印章ヲ押シ且ツ書架ノ記号ヲ附ス可シ其書籍ニ押ス可キ印章ハ隠起模様ノモノヲ用ユルヲ最良ナリトス而メ此印章ハ各板各圖共ニ書籍ノ表題紙及ヒ其始葉ト末葉トニ必ス之ヲ押ス可シ○架上ニ修置セル書籍ノ地位ヲ表明スル記号ハ各巻ノ内外ニ附スヘシ各巻ノ表紙ニ記号ヲ附スルトキハ容易ニ刪去シ難シ故ニ書籍ヲ更ニ整理スルニ当テハ格外ノ煩労ト費用ナカル可カラス然レトモ此方法ハ大ニ省認シ易キノ利アリ而シテ若シ能ク注意スルトキハ記號ヲ取替ユルノ不便ハ極メテ尠カル可シ狭小ナル書籍館ニハ通常ニ遞次ノ番号ヲ用ヒ又廣大ナル書籍館ニモ亦常ニ諸般ノ書函ニ番号ヲ附シ書架ニモ尚ホ文字ノ記号ヲ付ス可シ而シテ各架ニ在ル各巻ニモ亦番号ヲ付スルナリ縦令ハ十八D、十二ノ附号ハ十八号ノ函ノ第四架ニ在ル第十二番ノ書冊ヲ表明スルナリ○書架ニ藏メ置ク書籍ハ精密ニ其分類ヲ為スヿ必要ナラスト雖トモ書目ノ大別ニ従フテ必ス之ヲ整列ス可シ又各大別ノ種類ニ書函番号ノ餘数ヲ分与スル時ニ曽テ書目ニ登録シタル書籍ノ函号ヲ改正シテ而メ種類ノ順序ヲ断絶スルナク又ハ充満セル書架ト空虚ナル書架トヲ混合スルノ不便ヲ生スルナク連続シタル順次ヲ以テ預メ其数ヲ大ニ増加スルノ準備ヲ設ケ得ヘシ縦令ハ若シ其種類ノ順序ハ「ミストル、ハルトウエル、ホール」氏ノ著述セルモノニシテ而メ書籍館ニ於テ神学ノ種類ニ藏ムル書籍ハ二十五ノ函号ヲ以テ終ルトキハ法学ニ属スル書籍ハ二十六ノ函号ヲ以テ始ム可シ然レトモ此書ノ番號ハ五十一ノ函号ヲ以テ始ムヘシ、神学ノ

種類ニ加増スル書籍ハ勿論二十六ノ函号ヲ付ス可シ而メ四十九ノ函号ニ達スル迄書籍館ノ中何レノ部中ニテモ是等ヲ藏メ置クヲ得可シ

書生ノ便利ヲ容易クスルニハ左ノ方法ヲ以テスレハ則チ大ニ其益アルヲ經驗ニ因テ證明セリ即チ書生ノ請求スル書籍ハ書名ノ書付ヲ差出サシメ而メ書生ニハ常ニ書目ヲ檢視セシメ以テ其需ムル處ノ書籍ノ函号ヲ謄写セシムルヿヲ要ス可シ又書生ニ書籍ヲ供スル順便ノ方法ハ書籍館ニ於テ各ノ書函中ニ修置セル書冊ノ畧表ヲ附スルニ在リ若シ書生ハ大部ナル書籍中ノ第一百二十巻ヲ求需スルキ之ニ其精容ノ函号ヲ附與スルハ無益ノ時間ヲ費ス可シ然レモ各函ニ手冊ヲ備ヘ置クキハ則チ之ヲ掌管スル者ハ此ノ如キ書冊ヲ瞬間ニ省認スルヲ得ヘシ

○曼識特ノフリー書籍館ニ於テ使用セル畧表ハ印書シテ而メ假漆ヲ塗リ之ヲ各書函ノ前面ニ於テ當胸高處ニ置ケリ

記簿法及ヒ掌簿法ノ精容ナル方法ハ公覧書籍館ヲ昌盛スル為メニ第一緊要ノモノナリ尤ニ掲クル者ハ此種類ノ中ニテ苟シクモ缺ク可カラサルモノ、一種トシテ省略スヲ得ヘシ又多ノ書籍館ニ於テ他ノ方法モ亦特別ノ目的ヲ達スル為メニ必要ノモノナル可シ特ニ貸與書籍館ニ属スル主簿法ハ尤ノ如シ

第一、加増目録コレハ書籍等ヲ収受スル毎ニ其時日ヲ記シ且ツ其之ヲ貯藏シ得ル所以ヲ記スモノナリ

第二贈遺簿コレハ右ノ目録ニ比スレハ尚ホ精細ニ總テノ贈遺物ヲ記録スルモノナリ

第三、書架目録コレハ各函各架ニ藏ムル各書籍ヲ登記スルモノニシテ而メ「財本撿査登録法」ノ如ク之ヲ撿査シテ以テ書籍表ヲ造ルノ用ニ准備ス可シ

第四、製本簿コレハ製本師ニ交付セシ総テノ書籍ヲ登録シ而メ又之ヲ収受セシ時ニ拂フタル作料ヲ登記スルモノナリ

第五、報告簿コレハ日々書生ニ書籍ノ貸渡ヲ登記スルモノナリ但シコノ書冊貸渡ハ書籍館ノ一般ノ順序ニ於ケル規則ニ従ヒ之ヲ分類スヘシ

第六、告知簿コレハ書生ヨリ書籍館ニ於テ須ラク加貯ス可ク思考セル書籍ノ標目ヲ登記スル為メニ供スルモノナリ

第七、金銀出納ノ為ノ通常商業上ニ用ユル種類ノ會計原簿及ヒ出納簿

第八、目録ヲ付シタル手簿、コレハ事務局又ハ其他ノ諸局ニ使用スルモノナリ

若シ書籍館ニ登館スルノ准許ハ不列顛博物館ノ如ク紙牌ヲ用ユレハ則チ書生ノ姓名ヲ登録スル為メニ「許入簿」ヲ造リ而メ必スイロハノ目録ヲ附ス可シ又若シ書籍館ニハ総テノ来者ニ登館ヲ允許スレハ則チ書生各自ラ其姓名及ヒ宿所ヲ登録ス可キ日記ノ如キモノヲ乃チ准備ス可シ、爰ニ尚ホ登館准許ノ自由ナル方法ニ就キ欧羅巴大州ニ於テ其廣ク行ハレシモノ、例ヲ掲載シ而メ近来他國ノ書籍館掌官者或ハ他ノ官吏ノ施行セシ許多ノ方法アリテ以テ何等ノ弊害ヲモ生セサリシモノ、證拠ヲ亦掲載スルヲ得ヘシ、サレ𪜈世ノ論者ハ往々主張シテ曰

ク不列顛ノ重ナル書籍舘ニ於テ書生ノ為メ更ニ順便ヲ増シ而メ寛大ノ法ヲ常ニ設立セリ若シ一回此ノ法ヲ設クル片ハ則チ書籍舘ヲ貴重ニ保護スルヲ保證セシ從前ノ法則ヲ廃棄スト而メ尚ホ近年ニ至ルマテ何事ニ就テモ言ヲ飾リテ以テ斯クノ如ク主張セリ

然リト云ヘ𪜈近来英國ノ至大ナル都府ノ中或ル地方ニ於テ採用セシ「ミストル、エワルト」ノ條例ニ拠テ設立セル方法ハ全ク此疑問ヲ氷解スル證拠ヲ表明セリ即チ人口多キ都府ノ展覧自由ナル一ノ書籍舘ニ於テ二十万巻ノ書冊ヲ一回ニ貸渡ストモ一冊モ紛失セサリシヿ経験ニ由テ以テ證明セリ但シ此経験ハ勿論不列顛博物舘ノ如キ國ニ属スル大書籍舘ノ書冊貸渡シノ場合ニ之ヲ精容ニ比較ス可シトノ言ハ主張サル、能ハサルナリ此方法ニ拠レハ則チ各人ノ渇望セル書籍ノ破損ハ頗ル多クシテ而メ容易ニ賠補スル能ハス故ニ之ヲ保護スル為メ自然ニ其製限ヲ要ス可シ蓋シ近来ノ経験ニ由テ推論スル真正ノ意見ハ到底尤ノ如クナラント思考セラル即チ此國ノ主府及ヒ其他ノ大都會ニハ登舘ノ志願アル者ニ都テ其許ヲ与アル自由ノ書籍舘ヲ設立ス可シ又旧書籍舘ノ規律ハ若シ改正スルトモ十分ニ無難ノ意見アラハ則チ賢明ノ所置ヲ以テ之ヲ寛裕ノ規律ト倣スヲ得ヘシ然レ𪜈此法則ハ總テノ書籍舘ニ遍ク適用ス可キニアラスト

一千八百五十五年ノ「ミストル、エワルト」ノ條例ビクトリヤノ即位第十八年及第十九年ノ條例第七十篇ハ第一ニ大約人口五千人以上ト省認ムヘキ總テノ會邑第二ニ更

政局ヲ有スル処ニシテ而メ右全数ノ人口ヲ有スル総テノ州第三ニ又全数ノ人口ヲ有スル総テノ教會第四ニ二箇或ハ其以上ノ教會相ヒ接近シテ而メ人口ノ總計右同一ノ数ヲ有スルモノ等ニ総テ之ヲ適用スルナリ、又之ヲ採用スル片ハ則チ納税者ヲ招集シテ以テ必ス公會ヲ設ケサル可カラス而メ其議案ハ出席セル人員ノ少クモ三分ノ二以上ニ由テ投票サレサルヲ得ス若シ此ノ如クニシテ以テ議案ヲ決定スレハ則チ此條例ハ直チニ執行セラル可シ、事宜ニ由テ都府ノ公會或ハ更改ノ公會或ハ教會ノ公會ハ邑、州或ハ教會ニ於テ定税ノ家産ニ付其課税一ペンニーニ過キサル書籍館税ヲ課ス可キ権ヲ得ルナリ、又此書籍館税ハ専ラ其館ノ設立ニ之ヲ使用スルヲ得或ハ又一部ハ書籍館一部ハ博物館ニ使用スルヲ得ヘシ

斯ノ如ク設置セシ書籍館及ヒ博物館ノ管轄ハ一ノ都府又ハ教會ニ於テハ之ヲ其公會ニ委任シ、一州ニ於テハ之ヲ更改ノ公會ニ委任シ又一教會ニ於テハ其公會ニ由テ命ス可キ理事官ニ之ヲ委任スルナリ而メ其理事官ノ員數ハ九人ヨリ多カラス亦三人ヨリモ少カル可カラス○公會又ハ其他ノ議員ハ書籍、新聞紙、地圖、課学及藝術ノ見本又ハ其他ノ必要ナルモノヲ給備シ而メ總テノ官吏及ヒ使丁ヲ使用スルノ権威ヲ有スルナリ、其他此ノ條例ニ拠テ設立シタル一般ノ書籍館及博物館ニ出入ノ許可ヲ得ル者ハ總テノ入費ノ課税ヲ免カル可シト議定セラル、ナリ

右ノ外又土地ノ方法ニ於テ重モニ不全ナル條例ハ（ビクトリヤ女王ノ第十七年及ヒ十八年ノ條例第六十四扁ト

全ク女王ノ第十八年及十九年ノ條例第四十篇蘇格蘭及愛耳蘭ニ於テモ亦其欵條良々相似タリ然レ𪜈模格蘭ニ於テハ投票ヲ做スノ資格アル者五人ニ由テ一ノ投票ヲ為ス可シ此投票ハ之ヲ要ス可キ集會ノ二日ノ間ニ必ス投名セサル可カラス

此條例ニ拠テ設立シタル總テノ書籍館ハ記録局及ヒ貸渡局ヲモ亦經營セリ、曼識特ノフリー書籍館ニ屬スル貸渡局ニ於テハ先ツ二人ノ納税者ノ印章及ヒ——書面ヲ得サレハ則チ誰ニ限ラス此書籍館ノ書冊ヲ貸スヲ許サス但シ納税者ノ姓名ハ曼識特ノ市民録又ハサルホルドノ市民録ノ中ニ登記セルモノニシテ而メ其一ノ證人ヲ以テ借主ノ紛失シ或ハ破損セシ書冊ヲ賠補スルノ締約ヲ做セシ者ニ限ル可シ

貸渡シ書籍館ニ於テ苟モ欠ク可ラサル計算簿冊ハ左ノ如クナルヘシ、第一ハ記録簿コノ中ニハ貸渡セシ各ノ書冊ノ員数及其表題ノ畧名ヲ記シ而メ借主ノ姓名及ヒ宿所ヲ記ス可シ尚ホ每日貸渡セシ書籍ノ員数ヲ逓次ニ記ス可キ一行ヲ設ク可シ而メ其貸渡セシ書籍ノ返納ヲ記スヘキ一行ヲ又設ク可シ、第二ハ願望及ヒ保證簿コノ中ニハ各ノ願人共ニ證人ノ姓名、宿所且ツ願望セシ日附、及ヒ願人ニ渡セシ紙牌ノ日附及ヒ番号ヲ登録ス可シ但シ此ノ簿冊ハ二様ノイロハ附ノ目録ヲ記ス可シ即チ第一ハ借主ノ表第二ハ證人ノ表ナリ、第三ハ書架目録第四ハ過料簿コノ中ニハ紛失又ハ破損セシ總テノ書籍及ヒ償金ノ總計ヲ登記ス可シ

此等ノ規則ヲ誥ク監督シ皆一様ニ主張シテ而メ總テ貸

渡シタル書薄ヲ宜シク検査ス可キ為メ一定ノ時期ニ之ヲ尽ク取回スルトキハ則チ貸渡書籍館ハ極メテ人口多キ都府ニ於テ此ニ出入スル規則最モ寛大ナルト雖モ其損失ハ却テ僅少ニシテ書籍ヲ衆多貸渡スルコトニ由テ免カレ難キ破損ハ勿論之アリト看做シテ其業亦完成スルヲ得ヘシト看認セラル可シ○曼識特ノフリー書籍館ニ於テ三年ノ間ニ貸渡セシ書籍ハ二十三万六千三百二十巻ナリシカ紛失セシ書籍ハ啻々十巻ニシテ而メ其損失ノ総計モ亦僅ニ二十一「シルリング」ニ超過セサリシナリ、若シ製造ヲ主トスル都府ノ人口過半ハ時ニ轉住スヘキ生質ナルヲ胸算スレハ則チ此クノ如キ經検ハ人心ヲ勧励スルコト看做スヲ得ヘシ

民心ヲ得タル書籍館ノ勤務ニ就テ最モ著シキ改革ノ種々アル中ニモ貸渡ス可キ書籍ノ種類ノ制限ヲ廃止セシハ即チ其一ナルコト必セリ此制限ハ一時殆ト一般ニ行ハレシモノナリ、神学及ヒ法学ニ属スル書籍ハ輓近マテ多クノ公覧書籍館ニ於テ之ヲ貸渡スヲ禁制セリ殊ニ下等ノ人民ノ為メニ準備セル書籍館ニ於テモ亦其貸渡ヲ禁止セシナリ或ハ曰ク此等ノ書籍ノ貸渡ヲ許セハ則チ真正ト謬誤ト相ヒ錯綜セル書籍ヲ混和シテ而メ傳播ス可シト異論ヲ唱フル者アリ因テ一個ノ高上ナル政学家其家風ノ語ヲ以テ之ヲ論駁セシナリ即チ一千八百五十五年第十一月第十七日ノ公會ニ「ロルド、ジヨン、ルツセル」氏ノ曰ク真正ノ説ト謬誤ノ説ト自由ニ傳播スルヲ何故ニ許容セサルヤ、真正ノ説ニハ自ラ其充分ナル権力ヲ着ケシメ又謬誤ノ説ニハ自ラ其詭計欺術ヲ許サシメ

サルヤ、即チ議論ハ其議論ニ由テ而メ討論サレ確説ハ其考究ニ由テ以テ穿鑿サレシメサルヤ假令若シ真正ノ説ハ一時ノ間其害ヲ蒙ムルヿアル𪜈各人モ亦熱中シテ而メ謬誤ノ説ヲ信用シ恰モ氷ノ如ク真正ノ説ニ感動セサル時ハ即チ吾輩ハ尚ホ丸ノ如ク信用シ得ルナリ其自由ナル議論ノ公明ハ直チニ謬誤ノ雲霧ヲ解散ス可シ又其自由ナル講究ノ定見ハ直チニ純粋ナル鑛ノ銹ヲ離解ス可キハ猶智者ニシテ而メ後ニ知ルヲ待タサル可シ

明治九年五月廿六日校合済（小林）

278
14

内務

終